京城日報

三十一日夕刊

發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

鮮滿鐵道統一

◎鐵道統一官制内容

鮮滿鐵道統一に關する官制は三十一日の官報にて公布さるべく其の内容左の如し尚役員の任命は八月一日發表さるべし

一、朝鮮總督府鐵道局職員特別任用令は之れを廢止す

一、南滿洲に在勤する憲兵の長たる陸軍憲兵將校は關東都督府警務總長又は警視に憲兵准士官下士は關東都督府警部に特に之れを任命することを得

一、滿洲に駐在する領事又は副領事は二年以上關東都督府高等行政官の職に在る者又は五年以上滿洲に於て業務に從事し相當の學識經驗ある者の中より外交官及び領事官試驗委員の銓衡を經て特に之を任用する事を得

一、滿洲に於ける領事館に在勤する外務書記生は二年以上關東都督府判任官の職に在る者又は三年以上南滿洲鐵道株式會社の事務員にして相當の學識あるものゝ中より文官普通試驗委員の銓衡を經て特に之を任用する事を得

◎臺灣總督府官制

臺灣總督府官制中左の通り改正す
第三條及び第七條中「内務大臣」を「内閣總理大臣」に改む
第十一條乃至第十三條中「内務大臣に依り」を削る

◎外務省官制改正

外務省官制中左の通り改正す
第一條第二項を左の通り改む
外務大臣は外交に關する事項に付き關東都督を指揮監督す
第五條中「及び關東洲に關する事務」を削る
内務省官制中左の通り改正す
第一條第二項を削る
第三條中「六人」を「五人」に改む
第五條第十號を削る
第十二條中「百二十二人」を「百十七人」に改む
(以上三十日午後十時著東京特電號外再錄)

◎都督府官制改正

(東京特電)
關東都督府官制中左の通り改正す
第一條 關東都督府に關東都督を置く、都督は關東州を管轄し南滿洲に於ける鐵道線路の保護及び取締の事を掌る

◎鐵道統一官制内容(續)

朝鮮總督は其の管理する鐵道の建設、改良、保存及び運輸並に附帶の業務を南滿洲鐵道株式會社に委託する事を得
前項の場合に於ては朝鮮總督は南滿洲鐵道株式會社に對し委託業務の執行に關し必要なる命令若くは處分をなし又は官吏をして其の業務を檢査せしむる事を得
(附則)本令施行の際朝鮮總督府鐵道局職員にして南滿洲鐵道株式會社の職員となり朝鮮に於ける鐵道の業務に從事するものに關しては明治二十七年勅令第百九十二號を準用す

朝鮮總督府鐵道局官制は之を廢止す
前項の規程は本令施行の日より二年を經過したる時は其の効力を失ふものとす

樺太廳官制中左の通り改正す
第一條、第九條第十二條、第十四條及び第三十條中「内務大臣」を「内閣總理大臣」に改む

第四條 都督は南滿洲鐵道株式會社の業務を統裁す
都督は部下軍隊を統率し内閣總理大臣の監督を受け諸般の政務を統理す但外交に關する事項に就ては外務大臣の監督を受く
第五條中「清國」を「支那」に改む
第七條中「禁錮一年以下又は罰金二百圓以下」を「禁錮一年以下の懲役、禁錮若しくは拘留又は二百圓以内の罰金若しくは科料」に改む
第八條及び第十二條乃至第十四條中「外務大臣に依り」を削る
第十條中「外務大臣」を「内閣總理大臣」に改む
第十五條 第一項を左の如く改め第二項を削る
都督府に都督官房、民政部、警察部及び陸軍部を置く
第十六條 第一項を左の如く改む
都督官房民政部及び警務部の事務の分掌は都督之を定む
第十七條 削除
第十八條 削除
第二十一條中「外事總長勅任」を「警務總長勅任又は奏任」に改む
第二十二條の二
警務總長は南滿洲駐剳憲兵の長たる陸軍將校を以て之に充つ
警務總長は都督の命を受け警務部の事務を掌理す
第二十二條の三
外事總長は民政部に屬し上官の命を受け外事事務を掌理す
第二十三條中「各課の事務」を「所務」に改む
第二十四條 事務官民政署長たる者を除くの外上官の命を受け所務を分掌す

◎拓殖局官制内容

新設拓殖局官制は七月三十一日公布されたるが其内容左の如し(東京特電)
第一條 拓殖局は内閣總理大臣の管理に屬し朝鮮、臺灣、樺太及び關東州に關する事務並に南滿洲鐵道株式會社に關する事務を掌る但し外交に關する事務に就きては此限りに非ず
第二條 拓殖局に左の職員を置く
長官(勅任) ▲次長一人(勅任) ▲書記官 專任三人(奏任) ▲屬 專任十二人(判任)
第三條 長官は内閣總理大臣の命を受け局務を掌理す
第四條 長官は所屬職員を指揮監督す

◎拓殖調査官制内容

拓殖調査委員會官制は七月三十一日公布されたるが内容左の如し
第一條 拓殖調査委員會は内閣總理大臣の監督に屬し其諮問に依り拓殖に關する事項を調査審議し意見を開申す
第二條 拓殖調査委員會は委員長一人副委員長一人及び委員二十人以内を以て之を組織す特別の事項を調査審議する爲め必要あるときは臨時委員を置く事を得
第三條 委員長及び副委員長は内閣總理大臣の奏請に依り之を勅命す委員及び臨時委員は内閣總理大臣の奏請に依り關係各廳高等官及び學識經驗ある者の内より内閣に於て之を命す
第四條 委員長は會務を總理す委員長事故あるときは副委員長其職務を代理す
第五條 拓殖調査委員會に幹事二名を置き内閣總理大臣の奏請に依り拓殖局高等官の内より内閣に於て之を命す
幹事は委員長の指揮を受け庶務を掌理す
第六條 拓殖調査委員會に書記を置き内閣に於て之を命す
書記は上司の指揮を受け庶務に從事す

◎關東都督以下任命

左の通り關東都督以下の任命を見たり(東京特電)

任關東都督 陸軍中將正三位勳一等功四級男爵 中村雄次郎
任關東都督府民政長官(一等) 正四位勳三等 宮尾舜治
南滿洲鐵道株式會社理事長被仰付 工學博士正四位勳四等 國澤新兵衛
任拓殖局長官(一等) 關東都督府民政長官正四位勳二等 白仁武
任拓殖局次長 陸軍省參事官從五位勳四等 立花俊吉

▲官制改正

鐵道統一に伴ふ朝鮮總督府、朝鮮鐵道局官制並に南滿洲鐵道株式會社に關する件中改正の件は本紙東電既報の如く七月三十一日附勅令を以て左の如く公布され何れも公布の日より施行の事となれり

勅令第七十八號
朝鮮總督府官制中左の通改正す
第三條、第六條及び第七條中「内務大臣に由り」を削る
第十條中「及び土木局」を「土木局及び鐵道局」に改む
第十一條中「局長三人」を「局長四人」に「三十六人」を「三十九人」に「二十八人奏任内二人を勅任と爲すことを得」を「三十一人奏任内三人を勅任と爲すことを得」に「三百八十七人」を「四百二人」に改む

勅令第七十九號
朝鮮總督府鐵道局官制は之を廢止す

勅令第八十號
朝鮮總督府土木會議官制中左の通改正す
第三條中「鐵道局長官」を「鐵道局長」に改む

勅令第八十五號(摘要)
高等官官等俸給令中左の通改正す

總督訓示

鐵道統一の結果三十一日鐵道局に於て前鐵道局員に對し山縣政務總監の代讀せる長谷川總督の訓示如左

朝鮮は滿洲と壤土相接し交通及び經濟の關係最も密切なるものあり而して朝鮮鐵道と南滿洲鐵道とは其の連絡の關係頗る密接なるに拘らず各管區を異にし運用亦統一を缺くことなきにあらざるは甚だ遺憾とする所なり是に於て朝鮮鐵道の經營を南滿洲鐵道株式會社に委託し以て運輸交通の統一を圖り鮮滿の經濟及交通の改善を期するに決し今次朝鮮總督府鐵道局を廢し別に總督府内に鐵道局を設け之か監督に任ずることゝなれり各位は轉じて南滿洲鐵道株式會社に入ると留まりて總督府に在るとを問はず其の從事する所異なると雖も其の從事する所は異ならざるを以て克く鮮滿鐵道統一の主意を了知し倍業務に勉め以て其効果を擧げむことを期すべし

第八條中「法制局長官」の次に「拓殖局長官」を「印刷局長」の次に「拓殖局次長」を加へ「關東都督府警視總長」を「關東都督府警務總長」に改め「朝鮮總督府鐵道局長官」及び「朝鮮總督府鐵道局理事」を削る
第十四條中「賞勳局書記官」の次に「拓殖局書記官」を加へ「朝鮮總督府鐵道局參事」を削る
第十六條中「朝鮮總督府鐵道局副參事」を削る
第二十條中「朝鮮總督府鐵道局參事補」を削る
第二十一條中「朝鮮總督府鐵道局通譯官」を削る
第二十七條中「及朝鮮總督府道長官」を「朝鮮總督府道長官、關東都督府警務總長及び關東都督府外事總長」に改む
別表第一表内閣の部中賞勳局總裁の項の次に左の如く加ふ
同表第一表朝鮮總督府の部中土木局長の項の次に左の如く加ふ
鐵道局長
同表第一表朝鮮總督府の部中中樞院書記官長の項及鐵道局理事の項を左の如く改め鐵道局長官の項を削る
中樞院書記官長 同上 同上
中樞院通譯官 同上 同上 同上

勅令第八十九號
明治三十九年勅令第百四十二號中左の通改正す
第二條及び第十一條の二中「日淸」を「日支」に改む
第七條中「總裁一人、副總裁一人」を「理事長一人」に改む
第八條第一項乃至第四項を左の如く改む
理事長は會社を代表し關東都督の命を承け會社の業務を執行す理事長事故あるときは政府の指定したる理事其の職務を代理す
理事は理事長を補助し會社の業務を分掌す
第九條乃至第十一條中「總裁、副總裁」を「理事長」に改む

勅令第九十號
朝鮮總督は其の管理する鐵道の建設改良、保存及運輸並附帶の業務を南滿洲鐵道株式會社に委託することを得
前項の場合に於ては朝鮮總督は南滿洲鐵道株式會社に對し委託業務の執行に關し必要なる命令若は處分を爲し又は官吏をして其の業務を檢査せしむることを得

附則
本令は公布の日より之を施行す
本令施行の際朝鮮總督府鐵道局職員にして南滿洲鐵道株式會社の職員と爲り朝鮮に於ける鐵道の業務に從事する者に關しては明治二十七年勅令第百九十五號を準用す
前項の規定は本令施行の日より二年を經過したるときは其の効力を失ふ

▲委任書調印

國澤滿鐵理事長は久保庶務課長を隨へ三十一日午前十時總督府に赴き第一會議室に於て山縣政務總監以下大屋長官、人見理事、荻田總務局長等と會合總督代理山縣政務總監との間に朝鮮鐵道委任書に調印し同時に政務總監は國澤理事長に大屋長官は人見理事及び荻田總務局長に對して夫れ〳〵事務並に文書の引繼を爲し十時三十分一同自動車を連ねて鐵道局に向へり

▲調印後の擧式

鮮滿鐵道統一に關する調印を終れる山縣政務總監大屋鐵道局長官人見理事荻田總務局長高橋武官遠藤秘書官の一行並に國澤滿鐵理事長久保庶務課長上田秘書役の諸氏は三十一日午前十一時十分鐵道局を訪問同局高等官の出迎へを受け直に樓上特別室に入り本局在勤高等官判任官全部に對し山縣政務總監は別項の如く總督の訓示を代讀し次で國澤滿鐵理事長の訓諭(朝刊參照)あり右に對し京城管理局長事務取扱横井實郎氏の謝辭あり十一時三十分終了參列の高等官以上は局前に於て記念の撮影をなし政務總監武官秘書官は直ちに歸府せり

委託告示

長谷川總督は七月三十一日附總督府告示を以て大正六年勅令第九十號に依り朝鮮に於ける國有鐵道の建設改良保存及び運輸並附帶の業務は三十一日より之を南滿洲鐵道株式會社に委託せる旨を告示せり

▲大屋長官告別

官制改正の結果廢官となる大屋鐵道局長官は三十一日午前十一時三十五分より同局食堂に局員全部を集め(朝刊參照)告別の辭を述べ横井實郎氏の謝辭ありたり

◎滿鐵理事 横井技師に決定

南滿洲鐵道株式會社京城管理局長は當局に於いて詮衡の結果鐵道局勅任技師汽車課長横井實郎氏に決定したるが氏は南滿洲鐵道株式會社理事として京城管理局長の事務を扱ふべし尚汽車課長は依然兼任す

◎鮮鐵の委託經營に就きて

政務總監 山縣伊三郎氏談

一、委託經營の趣旨

時々世上の噂に上つて居つた朝鮮鐵道の經營を南滿洲鐵道株式會社に委託する件は愈々七月三十一日を以て發表せられ、後に示すが如き要領の委託契約に調印を了し直に朝鮮鐵道の經營は滿鐵に移屬する事となつた。其の茲に至つた理由は朝鮮と滿洲は領土關係こそ同一ではないが、彊土相接續し自然の地形に於て離るべからざる密接の關係に在るのみならず、近來朝鮮も滿洲も各方面の拓殖事業は著しき進歩を爲し、兩者間の經濟交通は頗る濃厚となり、今後に於ては國境的差別觀念は消ねて、全く同一の經濟區域を成すであらう又成さねばならぬ事と信ずるのである。然るに此兩地に於ける經濟交通の骨幹たる鐵道は、朝鮮に於ては朝鮮總督府、滿洲に在ては南滿洲鐵道株式會社が各別に經營し來つたので統一を圖るが爲めに、兩者間に各種の協定施設を爲し、相當の成績を擧げつゝあつたのは、普ねく人の知る所であるが、何分にも此經濟交通の骨幹たる鐵道の經營首腦が、一は朝鮮一は滿洲と相分たるゝことは、先以て鮮滿經濟の共通と云ふ觀念に於て面白からぬのみならず、實際の運絡統一の上に於ても隔靴搔痒の感なき能はぬのであつた。政府は仍ち茲に見て鮮滿鐵道の經營を南滿洲鐵道株式會社の事業に統一し、上述の如き鮮滿關係の現在及び將來の要求に備へ、其の開發に遺憾なきを期する爲めに朝鮮に於ける國有鐵道の業務一切を擧げて會社に委託經營せしむることに決定した次第である。

二、滿鐵の朝鮮に於ける業務經營の組織

會社は朝鮮鐵道業務の委託を受くると共に、京城に同社の管理局を設置し、理事一名を駐在せしめて事業の衝に當たらしむることとした。而して内部の事務分掌の組織も當然の變更に伴ふもの二三を改めたる外、從來の鐵道局の制に依り其の他營業關係の規定なども從來のものを準用することゝして業務を繼承開始することゝなつた。故に此際鐵道業務が會社に移屬したればとて、別段の變革はないのであるが、向後會社は次第に考究を重ね委託の趣旨に添ふべく適切なる業務の改善發展を企畫することゝ思ふ。

三、鐵道官制の改廢

今次の變更に伴ひ鐵道關係の官制にも改廢を生じ、從來朝鮮鐵道の業務經營即ち現業を主たる任務として置かれてあつた總督府の所屬官署として鐵道局は、今回の業務委託と共に廢止せられた然しながら(一)委託せられた鐵道は依然として國有の鐵道であり、又業務委託の趣旨は前述の如くであつて、會社は其趣旨の貫徹に努むべきは勿論であるが朝鮮鐵道の經營上朝鮮の開發の爲めに益々努力せねばならぬ重大なる任務を有するのであつて、總督府としては其の業務經營に關して指揮監督の責任が存するのであるから、此の委託鐵道の監督に關する事務(二)今後朝鮮に於ける國有鐵道の建設改良事業に就きては、工事の施行は會社之に任ずるも、資金の支出從つて其の計畫設計は政府の責任に存するのであるから此の建設改良に關する事務(三)私設鐵道の監督の事務(四)向後朝鮮に於ける鐵道敷設の一般計畫に關する事務等を掌理せしむるが爲め別に機關を必要とするので、新に總督官房に鐵道局を設置せらるゝ事となり其々官制の改正を見た次第である。

▲鐵道局高等官

鐵道統一實施に伴ひ新に總督府内に設置されたる鐵道局は過般本府内に建設せし階上階下を合し約八十坪の建物を充用せるが同局に入る可き高等官は人見局長以下和田、新出、中村、濱崎及び岩崎等の諸氏なりと

▲京城管理局幹部

三十一日午後滿鐵京城管理局樓上に於て國澤理事長、横井管理局長、久保上田滿鐵高級社員其他幹部參集し重要社務に付協議せしが管理局幹部の顔觸は左の如し

總務課長 鷲尾弘準
營業課長 三本武重
汽車課長 横井實郎
工務課長 稻垣甚
經理課長 加藤正美
建設課長 小城齊

◎政務總監張宴

山縣政務總監は三十日午後七時より朝鮮ホテルに大屋長官を招待送別の宴を張れり當夜は宇佐美、小原、關屋、松永、鈴木の各長官、國分次官、關屋局長、久水課長、渡邊法院長、芳賀醫院長、超子爵、國澤理事長、三本人見兩理事、横井技師、久保課長、上田秘書役、秋山軍司令官、古海總長、白水參謀長、遠藤秘書官、野津副官等列席したり

◎大屋博士發期

廢官となれる前鐵道局長官工學博士大屋權平氏は八月一日午後七時五十分南大門驛發列車にて歸東の途に就くべし

◎京畿警務部長

鹽澤大佐の轉補

全羅南道警務部長光州憲兵隊長たりし鹽澤大佐は二十八日附を以て京畿道警務部長京城憲兵隊長に補せられたり

◎淺岡氏出發期 當廣江商會支配人淺岡重喜氏は八月二日午後七時五十分南大門驛發列車にて家族同伴神戸移住の爲め退京の由

人事消息

▲德永重康氏(早稻田大學教授理學博士) 三十一日朝渡京平壤へ
▲森岡英士氏(開城警察署長) 局部少將見送りの爲め三十日入京同日歸任
▲松元鶴熊氏(仁川警察署長) 同上
▲壬生一夫氏(仁川港務醫官) 同上
▲瀧野秀吉氏(慶州憲兵分隊長) 同上入京山本旅館へ
▲若松政平氏(富仁憲兵分隊長) 同上
▲石塚英藏氏(東拓總裁) 卅日家族同伴元山へ
▲弓削幸太郎氏(學務課長) 三十日東京へ
▲大内暢三氏(國民黨代議士) 三十日大邱へ
▲金子國三氏(陸軍步兵學校教官大尉) 三十日入京南大門旅館へ
▲吉田幸三郎氏(京畿道警務部副官) 三十日撫部少將を見送り開城へ
▲藤本末夫氏(第七十九聯隊附少尉) 三十日入京治光館へ
▲竹内道一氏(江原道技師) 卅日入京[illegible]旅館へ

◎露國境封鎖

旅客の出入禁止

露國内未曾有の狀態に鑑み假政府は來る八月十五日まで國境封鎖を命じ外務官廳發行の旅券を所持せざるものは出入を禁止したり(露都電報)

明治天皇五年式年祭遙拜式 京城神社の式場

●莊嚴なる遙拜式
松樹鬱たる倭城台公園にて

京城神社にては三十日午前十時より明治天皇五年式年祭遙拜式を行ひたるが參列者は李王御名代李秉武子、李太王御名代金春熙男、李堈公御名代金武官及び秋山軍司令官、山縣政務總監、立花師團長代理岡本參謀長、大屋鐵道局長官、國分司法部長官、宇佐美內務部長官、松永道長官、國分李王職次官、久水外事課長、金谷府尹其他文武高等官以下其他朝鮮側より趙重應、李夏榮、權重顯子等の各貴族參列し、民間側よりは秋吉、大垣、大和、田中、高山、城、原、森、古城、釘本氏其他氏子總代、在郷軍人會、赤愛、兩會朝鮮本部幹部員、高等普通學校生徒等參拜したるが式場を倭城臺公園の松樹鬱たる高丘上に設け中央には齋竹を立て七五三繩を張り盛砂をなして淸らかなる神籬を建て前には錦旗、黃旛、弓矢矛を立て五色の眞榊を以て嚴肅に飾りたるさま神々しとも最と神々し、而かる定刻に至るや妙なる古樂に神鼓を交へし莊嚴なる奏樂は齋壇の左方に當れる鯨幕の帷より起り昴より列席の四神官は起立のまゝ敬禮をなし參拜一同敬禮すると共に

一神官は先きに進み出て神前に奉拜し幣帛を奉持し谷村神官以下列座の合人及び參拜者に修祓をなし其れより衣冠束帶の谷村神官は徐ら進み出で神前に遙拜詞を奉奏したるが此時滿場水を打ちたる如く崇嚴の氣自ら襟を正さしむるものあり、斯くて奏樂裡に玉串を奉奠し次で李王李太王御名代以下何れも玉串を捧げ式を終りたるは午前十一時なりし夫れより一般の參拜を許したれば參拜者內鮮人の別なく齋場に蝟集し午後二時まで無慮二千人に及びたりと

◆三殿下 高野山御登山

山階宮武彦王、芳麿王、藤麿王の三殿下には三十日紀州高野山に御登山あらせられたり(大阪特電)

●東萊温泉の大園遊會
東萊開始以來初めての賑はひ

本社主催東萊海雲臺探涼團一行は三十日午前八時三十分頃に釜山驛前電車停留所に集合同九時同所發貸切電車二輛に分乘東萊に向ひたるが瓦電會社は探涼團一行の爲に特に花電車を提供し

▽東萊に直通 せしめたる爲め沿道は觀覽者の群を爲したり一行東萊温泉停電所に著するや東萊郡守、物部繁榮會長、同地官民有志者、東萊妓生等數十名の出迎を受け一同蓬萊館、鳴戸支店、大池旅館等の指定旅館に入り各內湯及び瓦電會社經營の大浴場にて入浴休憩せり、正午十二時

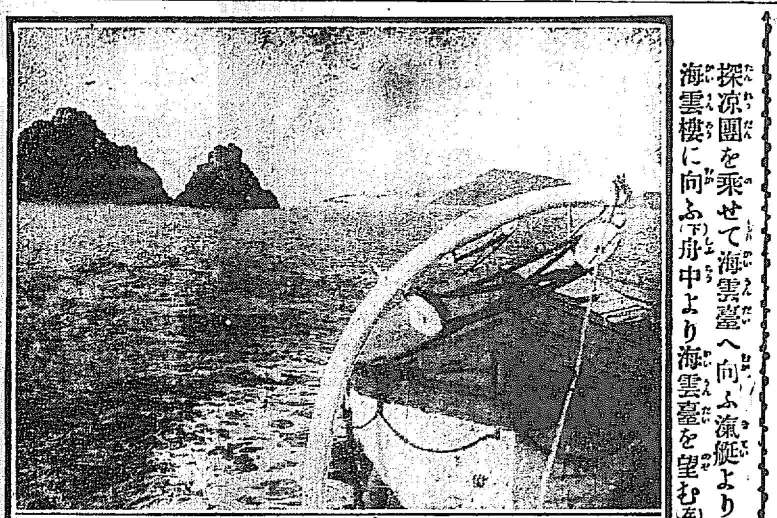
▽爆竹を合圖 に豫て設備せる大園遊會場に於て園遊會開催の筈なりしも炎威天幕を焦し苦熱甚だしきより俄に會場を瓦電會社浴場の休憩室に移し同一時園遊會を開催せり當日は來賓として釜山商業會議所會頭大池忠助、朝鮮瓦斯電氣會社長香椎源太郎、同社監査役水野巖、釜山商業會議所書記長花輪照太郎、釜山日報社長芥川正、朝鮮時報社理事押村海月、朝鮮新聞支社長神原順吉其他有志數氏東萊邑內よりは東萊郡守、齋藤郡書記及び有志諸氏臨場し阿部本社長は主催者として

▽一場の挨拶 を述べ東萊官民諸氏及び釜山より來臨を辱くせる諸氏に對し探涼團一行の爲めに種々歡迎を盡されたる厚意を謝したる代表し一場の感想談を横田日清生命保險會社京城支店長は園員一同を代表して謝辭を述べ

▽宴會に移り たる釜山の藝妓約三十名それに東萊の妓生二十名酒間を斡旋し歡聲湧くが如し三時各料理店及び會場附近の店內に設けたるビーヤホル、お茶漬、汁粉、冷し麥酒、そば、煙草、堤氏の特に寄贈せられたるラヂウム飲料等各種の模擬店を開始し一方演藝場には妓生の舞曲を開演したる爲めさしもに温泉場は

▽一大歡樂場 と化し炎暑物かわと浴衣掛けの園員左往右往同地開始以來初めての賑ひなりしと噂せり一行は午後五時一先づ各旅館に引上げ休憩同七時に旅裝を整へ八時三十分美々しき電光に彩られたる二輛の花電車に分乘釜山に向ひたるが冴へ渡りたる弦月中天に懸り冷風面を打ちて

▽炎熱の苦を 忘れ九時釜山驛前にて下車し同驛二三等待合室にて休憩同十一時發貨物列車にて二日の旅程何等故障なく園員滿悅の態にて歡樂裡に京城に向ひ歸路に就きたり(探涼團隨行記者)



探涼團を乘せて海雲臺へ向ふ瀛艇より五陸島を望む(上)園員海雲臺上陸
海雲樓に向ふ(下)舟中より海雲臺を望む(左)

◆明治天皇五年式年祭

□宮中皇靈殿 三十日宮中に於て明治天皇五年式年祭を御擧行あらせらる、午前八時掌典部員出仕し皇靈殿御殿の装飾を奉仕し午前九時より伏見宮貞愛親王殿下外各皇族同妃殿下を始め奉り松方內大臣、大隈大勳位、寺內首相外文武高官高位の人々係式部官の誘導により著床、奏樂中に掌典御扉、神饌供御式あり終りて九條掌典長恭しく祝詞を奏し終るや天皇陛下には御東帶黃櫨染の御袍立纓の御裝束に御笏を執らせられて出御あり戸田式部長官の前行鷹司侍從長以下扈從し親しく御禮拜あり御告文を奏せられ入御遊ばさるや各皇族殿下參列の諸員順次拜禮あり次で東遊の御儀あり再び奏樂裡に幣物を撤したる後閉扉退下せるが正午再び御開扉午後一時三十分より各派管長、伯、子、男爵、從二位以下の參拜あり午後五時より御神樂の儀ありて皇靈殿の儀を終らせられたり

□伏見桃山陵 三十日朝伏見桃山陵にて明治天皇式年祭を莊嚴に行はせられたり神饌に供へ東園掌典次長祝詞を奏し天皇陛下御名代閑院宮殿下、皇后陛下御名代北白川宮妃殿下以下各宮家王世子殿下御參拜あり玉串を捧げ東郷大勳位總代以下波多野宮相、松室法相以下參拜し終りて柳原二位局以下當女官參拜したり(大阪特電)

▲一行歸京
何れも大元氣

二十八日夜南大門驛出發東萊海雲臺に採涼旅行中なりし本社主催採涼團は二十九三十の兩日釜山東萊海雲臺に於ける官民有志の盛んなる歡迎を受けつゝ海に山に温泉に心ゆくばかり淸遊を擅にして再び貸切列車二臺に分乘して三十一日朝南大門驛著歸京したるが、一行は孰れも元氣にて自ら採取したる海草魚貝の類を土産として持ち歸れるもあり、園員の多くは顔面黧黑色となり居れるを見受けたり

●損害金六十九萬圓請求訴訟

神戸與平野船舶業某は長崎市の船主森原新一を相手取り契約不履行に基く損害金六十九萬圓請求の訴訟を提起せり(大阪特電)

●元奈良縣知事 夫人の成の果

元奈良縣知事の夫人某(五□)は三人の子まで儲けたるも先年離縁となりしが身分を包み岡山にて下女奉公をなし居りしが二十九日夜某木賃宿に泊りしが巡査に發見せられ保護を受け郷里福井に歸りたり(大阪特電)

●仲仕賃金暴騰

大阪に於ける仲仕賃金は貨物輻輳等にて破天荒の値上げをなし沖仲仕五割陸は三割に暴騰せし爲め一夜に七圓を得るものあり(大阪特電)

●松江劇場燒失

松江市の劇場永德座は三十日午前一時五十分燒失せしが損害二萬圓なり同座は山陰第一の劇場なり(大阪特電)

●工夫四千名の同盟罷業

佐賀縣東松浦郡北波多村三菱炭鑛工夫四千名は同盟罷業を爲し賃金の値上を要求せり(大阪特電)

●京城醫專生徒 自殺を企つ

平北義州南一洞當時京城臥龍洞李醫寓方止宿中の金志相(二一)は京城醫學專門學校四學年の生徒なるが三十一日午前三時頃居室にて長さ五尺位の絹紐を頸部に捲き付けて自殺を企て苦悶中を家人が發見し制止したるも容易に肯き入れず已むなく最寄りの巡査派出所に其の旨急報したるより詰合の巡査出張懇諭せしが同人は放蕩の結果一回落第し其の後自暴自棄となり宿泊料其他約三百圓の借財嵩みたるより實家に送金方を依賴したるに此程實兄某が來りたるも一文も與へず嚴しく叱り飛ばして立ち歸りたる程なれば前途を悲觀して自棄を起したる末前記の如く自殺を企てしものゝ如きも同人が認めたる兩親及び其の筋宛て三通の遺書に依り察するに狂言自殺を企て宿主等を驚かして實家より送金を得んと此の始末に及びたるもの、如しと因みに生命其他には何等異狀なしと

□三十一日温度(午後三時京城測候所發表)
昨日最高温度九十三度四分
華氏九十七度九分

●藥品證書僞造事件

長崎縣立病院にて藥品納入に關する證書僞造事件起り目下取調中(大阪特電)

灯とし頃

▲富山縣知事に轉じたる井上孝哉氏過日越中立山の雄山神社乃ち立山權現に奉幣使として登山し▲北日本アルプスの嶮を縫ひ萬年の氷雪を抱く峻峰に立ちて靈感殊の外に深く▲山上より無鉢居士に一書を寄せ且つ吟じて曰く『尊さや神代ながらの雪の峰』と▲神さびたる神殿の前萬年雪を吹く冷風に思はず襟を正した樣を思ひ泛ばせる▲一方蘭和尚の野田大塊翁近頃の暑さにも屈せず毎日蘭を描いたり十七字を並べたりして居ると見ねて▲じく消息して『暑さにもかけは淸風の蘭の薫と』▲これは大粒の汗のボタ〳〵を思ひ起させる

海水浴潮時早見
一日滿潮午後三時五十七分
二日滿潮午後四時四十七分

(文藝欄)課題募集規定

募集規程 ▲川柳は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類 [illegible]

◉連絡船上陸客 二十九日 [illegible]

天氣 晴れ時々曇り 八月一日(卅一日午後六時發)

商況

公債直取引(東京) 三十一日出來値 五分利 九六、七〇 [illegible]

深川在米特電 三十一日現在値 [illegible]

東京期米特電 三十一日前場 八月限 二八、六五八 [illegible]

大阪株式 三十一日前場 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 三十一日前場 [illegible]

雜報

◉綿糸更に高模樣

◉綿糸現物二圓高
布變

◉生糸反撥新高値

速 千七百圓丁度を 其の反撥又急

更に二十圓高の千 七百二十圓を報ず

市況一段活氣

◉更紙は七圓臺

七圓丁度の處 五十錢上げ 斯かる暴騰は異常

◉砂糖ヂリ高

京城正米

南大門の廻穀

三十日分 [illegible]

生魚市場

事と稱せらるゝも板紙は頻りに騰

◉內地製粉動搖

十八日の下關入電は約三十錢方

暴落 二十跳返

◉平板引締まる

五錢上の四圓〇 五錢 板概ね十錢方騰貴

四十九錢と安移 大阪 五節中八十七錢 先三十九錢と臨時安入電

◉柳半紙の高値

三椏製糸の流行に 歡迎さる海外輸出向

其材料を奪はれて和半紙類は殆ど

▲新規に手仕舞に買物多 地方旱魃の聲高く

▲中限上鞘

上鞘と示す奇現象 七錢の逆鞘

▲俄然跳返す

黃海道方面 旱魃被害 程度激甚

仁川期米

▲三十一日前場(强硬)

市場零聞

◉納會强硬

▲新甫內氣配 東京十一錢上鞘 見當は大阪は無鞘 乃至二三十錢上鞘

仁川市場 一向確たる氣配 無鞘乃至下鞘 新甫十月限の下

鞘は無論當然の結果

仁川米豆取引所

三十一日の九月限

生果市場

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全 高田仲買店 仁川 三丁目 電話 [illegible]

三等（五十六名）[illegible]
二十九日午後八時釜山入港さくら丸一二等客
三十日午前八時釜山入港新羅丸一二等客
三十日午後九時釜山入港[illegible]丸一二等客

海の賑ひ
仁川の海水浴
京城方面より避暑客續々入込む

仁川月尾島海水浴場は日を逐うて浴客の數を増し仲々の賑ひを呈し京城方面よりも多數の避暑客來仁し居れり三十一日は午後二時頃より滿潮時なるを以て[illegible]水泳教師先導にて紅白二隊となり月尾島[illegible]

▽約二十町間の遠泳を試みたるが此時海上波穩やかにして絶好の遠泳日和とて選手等の健兒は意氣大いに振ひ一發の號砲を合圖に猫島より縱列を作りつゝ月尾島水浴場迄を泳ぎ出づれば水浴場よりは浴場事務所員音樂隊見物人應援隊京日旗等を乘せたる通船及び新京日旗を翻せる小舟等多數出迎へて

▽大いに氣勢を添ふるなど光景壯觀を極む海上風や起り小波立ちつゝ有れ共未だ落伍者も無く頗る好成績の裡に遠距離遊泳の目的を達する事を得べく本稿締切迄は結果未だ明ならざりし因に開場當日は

▽通船四艘を以て連絡に充て居りしが入場客多數にて到底間に合はざるを以て三十一日より十艘乃至數十艘を以て連絡に充つる事となれり（仁川）

日本義勇兵
成績は頗る好い

最近加奈陀より歸朝せし某氏は加奈陀の現狀に付いて次の如く語れり、日本の各新聞紙を見るに合衆國若くは加奈陀に於ける

▽獨探の陰謀は殊に甚しく彼等獨逸人がサモ大活動を成しつゝあるが如く傳ふるも實際は少からざれども、加奈陀に於ける獨逸人の態度は甚だ其の趣きを異にし加奈陀人の獨逸人に對する態度は嚴肅を極め其の敵愾心は遺憾なく現れ彼等に對する制裁は實に猛烈にして加奈陀に住む獨人と云へば殆ど哀れなる境遇を受け居る狀態にあり最初は獨人と云へば直に之れを監禁し其の

▽行動は全く束縛せるも其後に至り勞働者の需用増大に耐へざるが爲め爾來收監の道を取らず其の代りに一々其の移動若しくば所在を届け出でしめ會合行き先き等は全然監視を怠らず、全く行動の自由を拘束し居るが爲めに彼等獨人は今や殆ど手も足も出でざる有樣にして加奈陀人の敵愾心は日一日と熱度を高めおれり而して加奈陀軍隊を見るも今日迄は誰が目にも

▽不熟練の軍隊に過ぎざりしが徴兵令を布ける今日は彼等軍隊上の訓練は云ふに及ばず其の精神に於て從來と全く異なり、自ら率先して軍務に服する狀態となれり思ふに今日の加奈陀軍隊は昔日の加奈陀を以て論ずべからず、必ずや世界の強兵を以て論ずるを至當なりとす、之れ今日に於て最も注目すべき變化なり、更に日本人の義勇兵は其後の效果如何と云ふ問題なるが

▽成績は甚だ良好なるが如しと雖も日本人の癖として同化力甚だ乏しく此點は英國政府も失望し居るもの如くなれど事實は今日尚試驗中にありと云ふ

探涼圈の海雲臺白濱海水浴（上）東萊温泉に於ける有志の歡迎宴會場（下）

豺被害の數々
近來頗る多し

最近慶尚北道各地に於ては豺の[illegible]甚しく深夜就寢中なる老幼の男女を拉し去らんとし傷けらるゝもの或は咬み殺さるゝもの等其數實に夥しきものあり爲めに被害地附近の人民は恟々として夜安らかに眠る能はざる狀態にて駐在巡査憲兵等は人民を指揮して日々山野を狩り立て豺の驅除に努め居れりと雖も其都度未だ何等獲るところもなし、されば今少しく大規模に豺狩りを行ふか又は就寢に際し各戸堅く門戸を鎖して豺の襲來を防ぐに非ざれば今後尚一層多くの被害者を出すこと明かなるべし、今左に去る十六日より十九日の四日間に於ける人畜の被害を示さんに

▲十六日は午前三時頃迎日郡滑河面[illegible]里朴鐵[illegible]女朴分漢（一六）同西井里金[illegible]韓今月（二八）同西井里崔趙伊（四一）はそれぞれ家族と熟睡中手足乳の下等を咬まれ悲鳴を擧げたるに驚きて豺は逃走し幸に輕傷なりしもの〻如し▲十七日は午前一時頃義城郡點谷面[illegible]里洞朴[illegible]宅にて親子三人扉を開きたるまゝ温突内にて就寢中二男の泣聲に眼を醒し見れば長男明煥（六つ）の姿見えざるより狼狽して急を洞民に告げ直ちに附近山野を搜査したる結果午前五時頃自宅を距る約六町の西方松林中に於て右手は第二關節より咬み切られ兩足は第一關節より下全部を喰ひ盡されたる死體を發見したりと▲十八日午後十一時過ぎ義城郡山雲面脇尾洞朴秀龍方にて就寢中なりし同二女朴又南（四つ）の居らざるに氣付家人は驚きて洞民を語らひ搜査中自宅より北方約十町の山上松林中に於て腹部及び腰骨の喰ひ殘されたる死體を發見し更に迎日郡滑河面臨頭里李玄伊妻金萬切（二一）及び同長男方術（二つ）同里金庚煥の三男金龍伊も各自宅にて就寢中豺に咬まれたるも傷は極めて輕かりしと▲十九日は午前二時頃迎日郡松羅面芳石里李玄九妻禹の伊（六三）及び同里黃龜俊（一三）各睡眠中豺に咬まれて[illegible]傷を負ひたるが尚は十六日午前八時盈德郡柄谷面金谷洞[illegible]永龍飼牛牡（二歳）は同洞[illegible]川庭に放ちありしを二頭の豺現はれ見る間に咬み殺し全部喰ひ盡されたる頃洞民多く騷ぎ立ちたる、豺は直ちに山中に逃げ姿を隱したりと

其他慶北安東郡西後面居住安東郵便局遞送夫崔炳基（三五）は去る二十三日午前二時頃醴泉郡路上洞に差かゝりたる折柄突如一頭の大豺現はれ崔の左上膊に飛び付き長さ一寸餘の爪傷を負はせて逃走したりと又た去る二十四日慶北慶州郡邑内の北方三十町のところ川北面隍城里に一頭の大豺現はれ路傍に遊び居たる同里居住李曦華の孫、李好（六つ）を咬み倒し咽喉を啣へて引摺り行かんとするを發見し數多の農民は四方より大豺を追ひ立てたるに驚き豺は女兒を捨て川を渡りて山中深く逃げ込みたるが一時人事不省に陷りたる女兒は幸に輕傷なりし爲め蘇生するを得たりと

口段軍凱旋の諸將

寫眞は陸軍部に會合せる所謂討逆軍の凱旋諸將にして今や昇天の勢ひあり其得意や思ふ可し前列向つて左より▲討逆軍南路司令陳光遠氏▲西路司令曹錕氏▲總司令段祺瑞氏▲東路司令段芝貴氏▲馬廠の師團長李長泰氏にして二列三列は各師團長及び旅團長なり（北京）

溺死

高陽郡纛島面東纛島里金漢春（二）は二十五日午後一時頃自宅下の漢江にて遊泳中[illegible]起り溺死す

水論から石合戰

滋賀縣野洲川にて水論より三十日朝石合戰を爲し多數負傷せり（大阪特電）

─濤の砂─

■義兄と命　東京府下千住小林常吉（二六）は外二名と共に二十五日同町の大池で遊泳中片足が藻に絡め遂に溺死した

■女教師の投身　熊本縣鹿本郡[illegible]（二八）は二十五日[illegible]小學校教[illegible]生れ東京[illegible]お馬鹿から門前に護への途中投身してたのを引揚げられたが何でも精神に異狀を來した結果であらうと

■白鼠を釣る　福岡縣[illegible]

■井戸に生埋　名古屋市東區[illegible]井戸掘業永谷留吉（五六）は二十三日井戸掘取替のため深さ三丈の井戸の中で作業してゐる内上から周圍の土砂が崩落して窒息死を遂げた

■盲目の獵夫　靜岡縣富士郡[illegible]狩兵衛七〇は若い内からの盲目で數年前盲目になつたけれど妻かれ（六〇）に道案内させ十八日白糸川に這入り[illegible]る俗にモモンガと言ふ怪獸を捕獲したが獲物が一貫目あつたさうな

■悲觀した男　岐阜縣土岐郡[illegible]鐐三郎（三〇）は妻よし（二五）が病氣の爲め名古屋の病院に入院したが危篤に陷つたので失望の餘り悲觀し長男[illegible]男（四つ）を連れて家出した儘行衛不明となつた何でも二十二日[illegible]の桟橋から伊豆行汽船の松丸から投身したらしいと

■大膽な小娘　前橋市石川町古物商上野[illegible]次郎長女はる（一七）は美貌が祟つて遂に墮落し十四歳の頃から盗んで身を飾り[illegible]の令嬢風を裝ふて芝居活動等で[illegible]へ前橋高崎東京[illegible]行動を日記帳に認めてゐた所を長野署で捕へられ此の程懲役六年の處分となつた

演藝雜記帳
壽座の喜劇

鬼笑會を觀た。初めの『望み通り』と終の『闇の光』は見落したが二番目の『短氣者』は一刻で短氣な魚賣の善太が怒りぽくて困りぬいたその妹と女房が一狂言書て短氣を直すといふ筋▲之れも途中から觀たのでよくは判らないが一瓢の善太は成程と思はせる所があつた、蓉峰の侍、時次の妹は鳥渡見たばかりだから何んとも言へない▲『故郷』は喜劇らしくない喜劇だつた、役々では一瓢の百姓勘作は最もよく大阪言葉丸出しの自然のウマ味が隨所に發揮されてゐた▲蓉峰の世話燒久兵衛も一瓢と同じ意味でよく役をこなし、霞のお菊は戀に破れた氣違ひと受取れ、殊に座敷を歩きながら時々洋燈を搖り動かして見るあたり中々細かく、[illegible]を弄んで『おゝ綺麗、綺麗』といふ臺詞に今一段の工風を要す▲時次の妹春代、ひさごの娘おみの共によし▲此の幕では誇りにキネオラマを應用して見物を喜ばせた、夏向きの芝居としては面白いものである

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七二　日本活動寫眞株式會社直營　[illegible]

有樂館　早川演藝部直營　[illegible]

壽座　京城壽町　電話七五八番　キネオラマ應用悲喜劇鬼笑會一行　▲三十一日第一回替狂言▲一番目（笑劇）物語金三場▲二番目（悲劇）天國二場▲三番目（喜劇）[illegible]▲四番目（喜劇）古狸三場　[illegible]　▲入場料特等[illegible]上等七十錢、二等五十錢、三等[illegible]

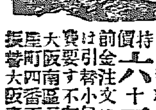
黃金館　電話二二六六六　天然色活動寫眞株式會社京城第一手代理店　[illegible]大阪城お濠の悲劇[illegible]妙國寺の血潮[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇　東京落語雷門助六一行　七月二十八日より開演　▲落語（ばん）▲落語（助丸）▲落語（雷洲）▲音曲手踊（歌六）▲落語（助六）▲名物踊（社中）▲落語振事（助六）▲常盤津（和佐八）▲落語劇（社中）▲入場料一等金三十五錢二等金廿五錢三等金十五錢

京城附近又は全羅南道等に於て農作物豐富の耕作地壹町歩以上及住宅を共に賣却希望の方は番地・文通されたし
大阪市南區日本橋筋二丁目七番地
花柳病專門藥舗
岡田海洋堂

確實なる仲介人を求む
米國ニユーヨーク市の市場向朝鮮製品を何なりとも共買入可申候若し此廣告に對して見本及確實なる證明を添へ且手數料等に關する條件を付し御回答被下候へば直に交渉可致候
神戸市 オリエンタルホテル内 エフ、エフ、ボーウ

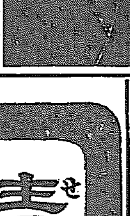
謝 在京中の御厚意及御見送
八月卅一日 隈部親信



ゴム底輕便靴
丈夫で德用 足痛なく旅行運動用及び勞働用に適す 學生吏員自轉車乘
持價 六十五錢 甲品七十五錢
前金注文に限る 三足以上[illegible]
大賣堂 大阪市南區[illegible]

自動車運轉手
[illegible]
東京市京橋區南紺屋町 私立 自動車學校

胃病良藥 太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
[illegible]
本舖 東京吳服町 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す



今回鹿兒島琵琶並に柴笛の名手山岡薩南氏の入京を機とし來る二日午後六時壽館に於て歡迎演奏會を催うすべく一般同好の士は御來場を偏に希望仕候也 入場料金廿五錢
主催 松風會

範模 牛乳
ニツソ 石鹸洗粉
場主 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五二番

[illegible] 中西[illegible]

懷中要藥
自衛の爲の
清心丹
飲食後常用せば胃腸を健全にし消化を良し、不良飲食物中毒、コレラ、腸チフスの豫防となり、口中を清涼にし咽を潤し氣分を爽ならしむ
船車、飲食物等の醉、頭痛、眩暈、嘔氣、腹痛、下痢、中暑、の應急藥
振替口座東京四六八 東京日本橋元大坂町 高木與兵衛

外科 一般花柳病科
内科 一般皮膚病科
普通及隔離病室完備 診察夜九時迄
京城旭町一丁目（本通り左に入る）
島崎病院 電話二七三六番

生松丸太（杭木並に小屋丸太） 長二十七八尺以上三十尺位末口五寸上 湖南線井邑驛前及京元線金谷驛に出村あり
松大丸太 赤身
青竹 檉材（製軍用） 新荷著
杉皮（安價なる屋根葺材料）セメント 新荷著
杉丸太足場用（二間以上五間半以下）各種
但し多數新荷著あり京釜沿線に御入用の節は御便利の爲め釜山港に多數積材あり
右特に廉價を以て御用命に應し可申候間多少に拘らず御用命の程願上候
京城府岡崎町 三幸洋行
電話長二八〇〇番・振替京城三一九五番

▲涼しい──黃金館
空前の大好評─連夜滿員
八月二日限り 絕對に日延不仕候
新派連鎖劇 大阪城お濠の悲劇 毎夜黃金館を涙の海と化す
米國バラー會社大作─世界的懸賞寫眞
第一 護る影 全三十巻 内四巻上場
天活會社東洋一手權利附
舊劇 妙國寺の血潮
次回八月三日より提供の大寫眞を期待せられよ

市場開業廣告
切日來驛場並に賣店建築中の處今回工事落成致候に就ては委托品販賣開市仕候間多少に拘らず御出荷被成下度敏速ご誠實こを旨こし懇力に取扱可申候間御愛顧御引立の程奉希上候
七月二十六日
平壤果菜市場 電話八一八番

[illegible]同案發見者には五十錢書籍券を呈す[illegible]一週間以内に到着[illegible]何者何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

豫報
[illegible]京城温度[illegible]

明君道中記

第二百廿一席　田邊南龍口演

大黒屋又兵衛の跡を引受けました子分の猩々の長吉といふ者は、又兵衛より年は若し氣性も優れ男振りも好い處から却つて又兵衛より評判が宜い位でございます。此の猩々の長吉といふ者は備後三原の生でございまして、三原といふ處は三原酒と云つて酒場である。酒を造る若い者のことを杜氏といふさうでございますが此の長吉は造酒屋の杜氏でありましたが一人の母があつて至つて孝行者主人も此を感心して他の者と違つて長吉には目を掛けて居ります。或日のこと若い衆大勢集つて酒を飲み始めた處朋輩の龜吉といふ者と何か口論をして互ひに立上りますと、氣早な龜吉臺所へ飛んで行つて出刃庖刀を持つて來て突如長吉の脊中へ斬付けたから、傷は淺いが脊筋を四五寸斬られました。傍らに居た者が是れを止め左右へ引き分けまする、何んと思つたか長吉は　長『イヤ俺が惡かつたから勘辨をしてくれ』と手を突て詫入つた時龜吉も血を見てハッと思つて醉も醒たか出刃庖丁を投捨て　龜『イヤ長吉何程醉つて居たつて刄物三昧をするのは俺が惡い、怪我をさせたのみならず汝に詫られて見ちやア此の龜吉は何とも面目無ね、俺が方で詫るのが順當、何うぞ今日のことは忘れてくれ』と是亦手を突いて長吉に詫入ります。喧嘩をしても双方で詫れば直に濟ります。他の者も喜んで仲直りをさせ醫者を招で手當をしたが僅な傷であるから三日も經ば癒ると云ふので其儘に濟してしまひました。當つて碎けろとか云つて喧嘩をしてから却つて仲が睦くなり兄弟同樣にして居りました處、其の翌年長吉の母親が死去ました。葬式を濟せ何にかと取片付たから主人方へ詫つて參りまして長吉は　長『旦那様、永々御世話になりましたが私は一度大阪へ出たいと思ひます故何うぞお暇を頂かして下さい』　主『永年の間骨を折つてくれたが大阪へ行くとあらば暇を遣りませう是は些の印ばかりであるが』と金子を十五兩呉れました長吉は喜び皆々に暇乞をいたしました末龜吉に向ひ　長『オイ龜吉』　龜『何だ』　長『お前に少し用があるから土藏の内へ一緒に來てくんな』　龜『何の用か知らねが用なら其處で云つたら宜からう』　長『此處では叶けねから藏まで來てくれ』と龜吉を土藏の内へ引入れた　龜『何だ用事は』　長『他でも無ね去年の春汝と俺と酒を飲んで喧嘩をしたが、彼の時の事を忘れやしめね』　龜『それをお前に云はれると何とも濟ね譯、何うぞあの事は勘辨をしてくんなせね、朝晩濟ねく\と、お前に云つて居るじやアねか』　長『能くも俺の脊中を出刄で斬り付け怪我をさしたな』　龜『ダカラ、詫て居るじやアねか』　長『詫に背ねね』　龜『背なければ何うするのだ』　長『汝の背中を斬らなくッちやア勘辨出來ね』　龜『そんな事は云はねでもあの時は俺も碎けて居たから機みで斬付けたのだ』　長『何でも宜から立て命の取り遣りをしろ』　龜『それは出來ね』　長『意久地の無ね奴だ、勝負が出來なきやア汝の脊中を斬らせろ』　龜『俺の脊中を斬るのかデア仕方がねから斬んなせね、成丈け淺く願むせ』と兩肌を脱いで脊を向ける、長吉は出刄を取つて突如刄先でスーッと脊筋を引くと、血は走る是を見て龜吉はウーンと氣絶をする、水を飲して介抱した故、息を吹返した　龜『あゝ痛ね大變に斬たな』　長『三尺八寸ばかり斬た』　龜『何に三尺八寸、ウーン』と亦眼を眩した、驪い男があつたもので、能々見ると三寸ばかりの傷でございます。然し長吉は此の後土地に戻る事も出來ない先非を悔いて詫びる龜吉を害めたとあつて土地の者が承知をしない大阪へ長吉は素々行くつもりで早速此所を立つてしまつた

書画用　絖画絹
京染呉服商　たきや出張店　京城永樂町二　電話一一九六番

外尿器科　皮膚科
淋科一般　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話四一九番

八月三日（金）　舊六月十六日　丁丑　なの　八白　友引　先負

▲八白　辛勞多く効薄き日新事見合乾の方は吉 ▲九紫　智術を願ふ日轉居旅行入學名誉の事吉 ▲一白　とんかんの事有日新事手控習事は吉萬可啓にせらるべし ▲二黒　片逆いな生ぜんとす新事手控商事は吉一切のせわ事を禁す ▲三碧　世間にさわる事有日新事手控習事は吉行儀作法を守らるべし ▲四緑　商事決算を意味する日新事手控習事は吉約束に用心せらるべし ▲五黄　引諸難儀の事有日新事手控商小土工は妨なし ▲六白　大望成就の日轉居入學等皆造て吉女子の獨立自營を計るに妙 ▲七赤　大受大當の日轉居旅行入學名弘探婚求職金談嫁聘等萬吉物に勝の日

▲山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
醫學博士　古城憲治
同　醫學士　上野亮藏
内科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り

新荷著　スヰツル製　懐中時計　アンクル式機械

（ニッケル側）	十八形	（片蓋）	二圓五十錢
同	十六形	同	七圓
同	同	八日卷	八圓
同	十六形	同	九圓二十錢
同	十七形	同	六圓五十錢
同	月曜付十六形	同	四圓五十錢
ラヂューム	十七形	十七形	十六圓二十錢
同	同	同	十二圓廿錢
同		（兩蓋）	五圓
（鐵側）ラヂューム入	十六形	（片蓋）	四圓五十錢
同	同	同	四圓五十錢
同	日曜付	二十二形	五圓五十錢
同	十六形	同	七圓五十錢
同	同	同	八圓
色付硝子彫刻各色	優美十二形	婦人持片蓋	七圓
同	十二形半	同	五圓二十錢
同	十七形	同	四圓五十錢
同	同	（兩蓋）	十圓
同	同	（片蓋）	六圓
金張（十年保險）	十八形	同	二十二圓
同（十年保險）	十七形九金	（片蓋）	十八圓
（金側）	同	同	五十六圓
同	十圓	同	六十五圓
至三百八十圓	金十八	同	百五圓
流行腕卷時計	十二形ニッケル	同	四圓五十錢
同	十三形ラヂューム入	同	七圓三十錢
同	同	（鐵側）	十圓
同	同	同	七圓
同	十四形	同	四圓三十錢
同	十三形	（銀側）	十圓四十錢
同	十四形	同	十九圓

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店には無き所のもの伏して願はくは急速御用命の程御便に遠方地方には御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商

イングレッシー商會
本店　京城本町二丁目　電話九七二番

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て殊に廉價に迅速と可嚇懇切な旨とし御命需に可應候
京城日報社寫眞製版部

赤毛染　ナイスからナイス
色も艶も申分ない　ぞらが染はナイスが第一
ナイス五大特色
▲僅一二十分で染る。
▲毎時迄も永く保ち。
▲艶々こ黒く美しく。
▲襟枕に浸着せず。
▲用法至極簡易。
大瓶七十錢　小瓶四十錢
男子用三十錢
發賣　大阪　東京　丹平商會
到る處の藥店化粧品店にあり

着しく胃を爽快にする
强胃消化錠　マーゲン
島田藥學博士鑑査
特約店　京城南大門通二　新井藥房
大阪上本町五田畑保護藥房

八月一日より五日迄（雨天順延）
富士山頂に於る
破天荒の　クラブ齒磨デー
五日間に御登山の方五千名まで
合計數百圓の記念品贈呈

一等　金側懐中時計……一箇宛（一名）
二等　銀側懐中時計……一箇宛（三名）
三等　極上水筒……一箇宛（六名）
四等　浴衣地……一反宛（十名）
外に　クラブ齒磨　一箇と富士登山記念繪端書一組宛右各等に添附進呈
五等　クラブ齒磨一箇　クラブ白粉一箇　登山記念繪端書壹組宛……（百名）
六等　クラブ齒磨一箇　登山記念繪端書一組宛……（千五百名）
等外　富士登山記念繪端書……一組宛（三千三百八十名）

八月一日より五日迄の内、御殿塲口、吉田口及び大宮口より御登山の方五千名迄、各登山口のクラブ齒磨本店臨時出張所に於て富士登山記念抽籤券を一枚宛差上ますから、夫を頂上の淺間神社前クラブ齒磨本店臨時出張所へ御示し下されば引換に上記の記念品を進呈致します。

頂上之印　表口

夏の衛生には仁丹が第一等
仁丹
金言　命に逆ふて君を利す是を忠臣と言ふ（說苑）
特約店　京城府太平通二丁目三五　キムラ藥房

皮膚病藥　ホシセプチン
定價金十錢
▲いんきん ▲たむし、しつ ▲ひせん、毛虱 ▲しらくも
東京南傳馬町三　星製藥株式會社
各地特約店及藥店にあり

是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
“PINE”
◎大日本政府登録　米國製正十四金「イリジユーム」付ペン（責任保險付）
◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
京城旭町二の六　東京パイン萬年筆出張所
定價　押出式　六圓八十錢　押出式　五圓三十錢　インキ止　四圓九十錢　最新婦人用　三圓八十錢　インキ止　三圓八十錢
發賣元　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
陳列所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

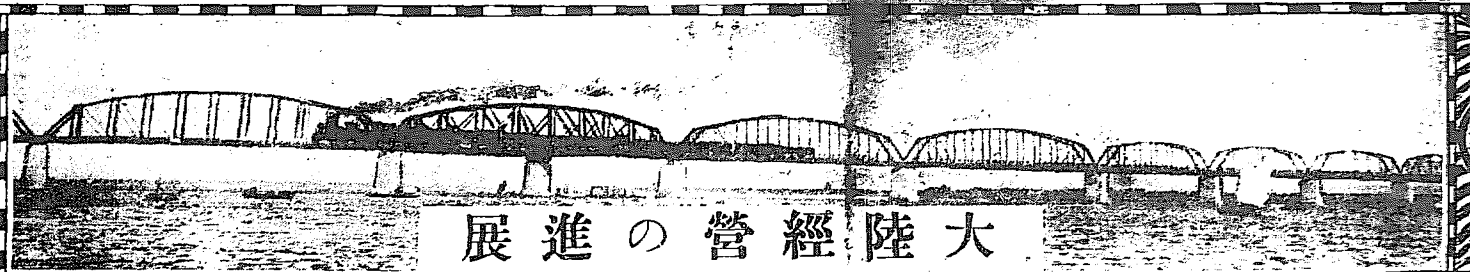
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行　京城
電話　二〇二三、二一〇六、二〇二三、二三六〇、六二一、二三六一
支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾濱、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

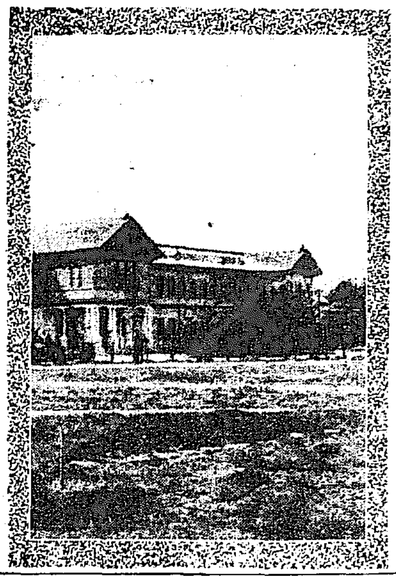
攝津灘　大塚釀造所吟製　金露
京城本町二丁目
賣元　前田酒店　電話一三七番　一四二五番

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

（明治三十九年八月七日第三種郵便物認可）
京城日報
第三版

大陸經營の進展





同　京城管理局（龍山）

鮮滿内政の統一

內閣總理大臣伯爵　寺内正毅氏談

統一政策の之有る所以

今回、關東都督府官制を改正し、都督をして南滿洲鐵道株式會社の業務を統裁せしめ、同會社の理事長は都督の命を承けて其の業務を執行し南滿洲に於ける領事及び副領事には地方の事情に通曉せる人材を採擇するの途を啓くが爲めに特別任用の制を設けて以上三機關との聯絡を圓滑ならしめ、朝鮮鐵道の經營を滿鐵會社に委託して運輸連絡を緊密ならしめたるが如きは畢竟鮮滿の內政統一を企圖したるに外ならずして、對外政策に就ては從前の方針と何等異動あること無し。由來、南滿洲に於ける三頭政治の弊を論ずる者は三者鼎峙して其施措常に支吾扞格するを痛嘆せざるは無く、鮮滿鐵道聯絡の不便を說くものは兩者其成立組織を異にして大陸交通機關の不統一なるを絶叫せざるはなし。政府茲に鑒る所ありて、今次之が統一を圖りたるは以て帝國臣民の大陸に於ける既得の權利を完全に保護し、併せて滿洲拓殖の實效を擧げ日支兩國相互の利益を增進せんと欲するが爲なり

滿洲の行政機關統一

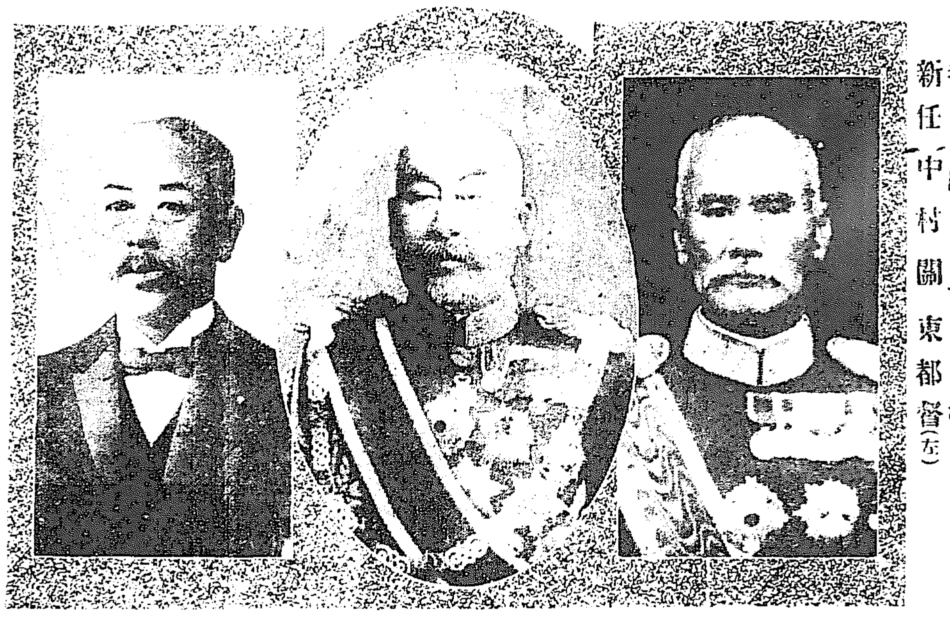
今日に於ける滿、鮮の疆土は著しく相近接し、鴨綠豆滿二水を隔てゝ鷄犬の聲相聞ゆるもの隘江數百里の長きに達す。茲に於てか利害の關係一層深甚なるを感知せずんばあらず。加之、滿洲に於ける我帝國の特殊權利は幾多の悲慘なる犧牲を拂ひて贏ち得たる當然の報酬にして、世界列國の俱に認めて首肯する所なり。故に此の特殊權利に基く正當なる帝國臣民の事業は努めて之を保護し其の發達を助長せしめざる可からず。然れども此の正當なる特殊權利の保護は由來其の行政機關の不統一なるに依りて往々隔靴掻痒の歎なき能はざりしは我滿洲移住者の齊しく經驗する所なり。茲に於て政府は其の弊因を除去するの方針を以て關東都督をして滿鐵會社の業務を統裁せしめ、同時に所在領事官に訓令を下して行政機關の統一を圖らしめ、特別任用の途を啓きて實務の成績を擧ぐるに力めんとす。故に、今回の官制改正は單に內政の統一を圖るに止まり、對支外交上何等の異動なきことは茲に之を言明して憚らざる也。

警察制度の改善統一

行政機關を統一すると同時に警察制度の統一を期待することは自然の要求なり。由來、普通警察と憲兵警察とは相兩立して別個の活動を爲し以て同一の治安に任じ來れり、加之、滿洲特殊の情勢は以上兩警察の一致提携を一層痛切に感知するものあり。是今回警察制度を改善したる所以に外ならず。

金融機關の整備發展

我邦人の滿洲に移住して農商其の他の業務に從事するもの逐歲增加し將來滿蒙地方に商租するもの亦漸次其數を加へんとするの趨勢あり。此等移住民の爲めに金融機關を設備することは商租、拓殖上最も必要なりと認め、今回東洋拓殖株式會社の營業目的を擴張して、新に其支店を奉天に設置せしめ、主として滿洲に於ける不動產金融の中樞機關たらしめ、又既に開設しつゝある朝鮮銀行をして、各要地に支店出張所を增置して、專ら商業金融の機關たらしめ、獨り邦人をして其便宜を享けしむるのみならず、日支合辦事業に從ふもの、又は滿蒙住民に事業資金を供給し、經濟的利益を增進して日支兩國の利福に資せしめんことを期せり。



長谷川朝鮮總督（右）
寺内首相（中央）
新任中村關東都督（左）

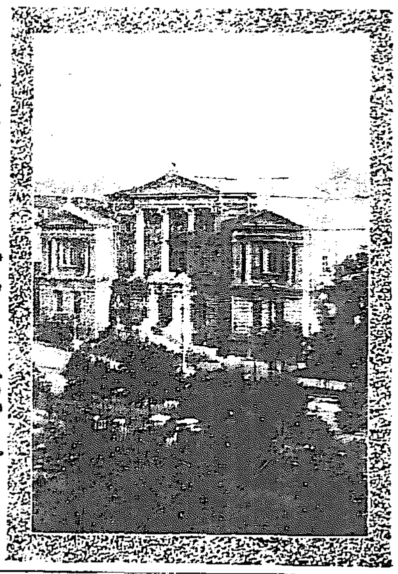
鐵道統一と朝鮮の開發

朝鮮鐵道と南滿鐵道とは其の成立の年處を異にし其性質組織亦自から相同じからざるものあるが故に、由來、相互獨立して鮮滿交通機關たりしが、鴨綠江鐵橋の竣工と安奉線改築工事の落成とは鮮滿兩鐵道を連絡して歐亞大陸の交通路たらしむると同時に、條然其の業務を統一するの必要を認むるに至れり。只、朝鮮鐵道は官營にして南滿鐵道は半官半民の商業會社なるが故に、直ちに之を併合して一體となすは、當時の事情之を許さざりしに由り、暫く三線連絡會議に依り運輸交通の圓滑を期し來れり。然れども、鮮滿地方に於ける內地人の拓殖と個人事業の發達とは益々之を統一するの必要なるを感知せしめ、茲に朝鮮鐵道の經營を南滿洲鐵道株式會社に委託し、車輛の構造、鐵道の建設、運輸の方法等を歸一ならしめ、以て經濟上最も不利益なる弊因を除去し、運輸交通の機能を敏活ならしめんと欲し、朝鮮總督府をして、機宜の措置を爲さしめたり。而して朝鮮に於ける地方產業の開發に對し滿鐵會社が最善の努力を致すべきの一事は、總督府と滿鐵會社との間に於て當然契約せらる可きを以て、統一後の鮮滿鐵道は又地方產業開發の促進機關たる可きは予の確信して疑はざる所なり。

拓殖局新設

我が植民地の政務は或は內務省の管理に屬するものあり、或は外務省の所管に屬するものあり、帝國の疆土漸く廣開するに從ひ其の植民地行政は自から統一を缺ぎ、拓殖の實績遲々として擧がらざること朝野の均しく認むるところなり。故に帝國政府は今次拓殖局を新設して殖民地行政を統一し、以て現時の缺陷を補ひ名實共に拓殖の機關たらしめんことを期す。

官制の改正に際して世上其の利害得失を云爲するもの多く間々政府の意志を誤解するものなきを保せず。若し內政統一に關する官制の改正を目して對外政策の一變せるが如くに揣摩臆測し善隣友邦をして徒らに疑心を抱かしむるあらば、豈に思はざるの結果を見るに至らんとす。是れ余が茲に官制改正の理由を略叙する所以なり。（文責在記者）



南滿洲鐵道株式會社（大連）

帝國の爲に慶祝す

鐵道は公利公益を目標とす＝雄大なる經營、偉大なる計畫＝施措機宜を得ば利する所洵に大也＝

關東都督男爵　中村雄次郎氏談

◆鐵道の第一義は天下の公道に在り

南滿鐵道株式會社と朝鮮總督府の鐵道とが、官制改正の結果、經營が統一せられた記念す可き日に於て、滿腔の祝意を表し、且つ之に就ての卑見の一端を披瀝したい。抑も、私は、鐵道なるものに就て極めて重要なる意味を認めて居る。鐵道の任務の重く且つ大なることは、天下の公道と稱せらるゝの一言に盡きてゐる。天下の公道である以上は、自ら公利公益を目的として措置經營すべきものであつて、彼小會社が分立して私利を競ひ、經營の方針區々に出づるが如きは斷じて採らざるところである。此の理由に基いて、南滿洲鐵道株式會社は南滿洲に於て、一手に鐵道の經營に當つてゐるが、而かも、會社が、日本のものであり、株式組織であるといふ點から、獨り、日本のみの利益、株主のみの利益に沒頭することなく、天下の公道たるの主旨に於て、公利公益を目標として經營進展し來つたことは、具眼の士の普ねく認むるところであらう。

◆鮮滿鐵道統一は當然の歸結なり

勿論、公利公益を目標とする以上、小會社と雖も、相倚り相助けて設備、聯絡に遺憾なければ、天下の公道たるに背かないことが出來る理屈ではあるけれども、實際に於て、經營者が異なる時は、種々相互に煩瑣なる協定を要し、設備の相違、聯絡の不完全等より貨客に對しても滿足を與へず、會社各箇にとつても、利益を減殺するの結果を來すのであつて、苟も鐵道を云爲するものゝ最も注意せざる可からざるところで、此點よりして、鐵道は雄大なる組織の下に、經營を統一し、偉大なる計畫を實施して、鐵道本來の任務を全うすべきものであるといふ斷案を下すことが出來る。從つて、私は、滿洲の鐵道と、朝鮮の鐵道、則ち一は日本のものであつて、純然たる營利會社と性質を異にし、國家的使命を帶びてゐる南滿洲鐵道と、一は朝鮮總督府の經營する朝鮮の國有鐵道、此の二者が連絡がつかないのは甚だ其意を得ない次第であると考へて居た。經營の目的に於て同一であつても、經營の主腦者を異にする時は、主腦者の考が相互に相違して居なくても、兩者の了解連絡に、言ふ可らざる微妙なる遺憾の點多きは、已むを得ざるところで、特に執行機關の末々に至つては、主腦者の思考し命令するところと相距ること遠き結果を生むことが間々あるのはまた奈何ともなし難きところである。かゝる次第で私は、從來、滿洲及び朝鮮の鐵道が同一の主腦者の下に經營されなければならぬと考へてゐたのである。今回、朝鮮總督府、則ち政府に於て、兩鐵道の統一經營の必要を認め、官制の改正を見るに至つたのは、政府の所見、亦、こゝにあつたものであらう。

◆理想は實現せり ◆公利公益の一致

此度、機熟し、朝鮮總督府は其の鐵道の經營を南滿洲鐵道會社に委託せんとし、南滿洲鐵道會社亦、悅んで其の委任を受けた。しかしながら、此の度、此の委任を受くるに就きても、最初から理想的といふわけには行かない。其委任契約の如き、今日の場合、必ずしも完全なものとは思はないが、其改善は將來に於て、幾多施爲すべきものがあらう。要するに、一歩一歩、理想に近くのであるから、最初から、最終の目的を貫徹し得たりとするもので無い。但し、今回の改制によりて、一歩も、二歩も從來に比し理想に近づいたのは云ふまでも無いことであつて、更に此上、他國の鐵道との連絡を努めて運輸改善し、天下の公道たる目的を達せなければならぬ。茲に於て、我が國の勢力範圍に在る鐵道が大陸に於て統一され、今後、施措を誤らずして努力せば、我が邦家が滿鮮に施行するところに偉大なる利益を與ふべきを確信すると同時に、前述の天下の公道たる任務を盡し得可しと信ずるが故に、今回の經營委任のことは國家のために滿腔の祝意を表する次第である。

◆滿蒙の開發と鐵道の建設と

抑も、滿洲、蒙古の開發は、其地に鐵道を早く敷設することを以て第一要義とする。而して、滿蒙の開發は、則ち其地方に於ける支那人の幸福を增進する所以で、日本が滿蒙を開發するは日本の利益のみを目的とするに非ず、寧ろ、直接、滿蒙の人民を善導して、文明の惠澤に光被せしむるの効果を齎らすものであつて、又一面より言へば、斯くの如くして地方民を啓發して開化に向はしむるは、其の地に鐵道を敷き、營業をなすものの義務と言つても宜からうと思ふ。則ち、今後、希望するところは、支那政府をして、鐵道を敷設して、土地を開發し、人民の福利を增すのは、支那自身が、自身の爲めになすべきことであることを理解せしめ、愈々、速かに、縱橫に鐵道の建設を實現し、民福を增進すると共に今回、合併せる兩鐵道と他鐵道との連絡が圓滿良好ならんことである。

◆事業は人に在り ◆經營は堅實なれ

滿蒙の地は、今後、開發拓殖の方針にして誤まらず、而して指揮施設の努力之に伴はゞ、大に經營の餘地ありと信ずる。然しながら、それに就いては、日本人が成る可く健實な經營の下に、事業を興す者で行かねばならぬ。滿蒙と雖も、勞せずして效果を收むることは出來ない。また、彼地に於て支那人と共に、事業をなすのは、極めて必要なことであるが、動もすれば、從來、共同經營に於て、支那人を欺過せざりしやの聲を聞くは、これ、將來、我が國のために不利益を來すものであつて、また其人自身も、左樣なる心得では、事業に成功せないだらうと思ふ。所謂排日思想の如きは、政府の處置如何によりて起ることも無いではないが、其實、兩國の民、相親和せるところでは、其樣な聲を、如何なる場合に拘らず、聞かうと思つても聞くことが出來ぬ。蓋し排日思想の如きも、多くは、日本人が餘りに支那人を輕視し、利益を壟斷するの嫌ある點より起るものではあるまいか。これ、將來、大に考へなければならぬところである。鐵道の開發につれて、多數の邦人が、滿蒙に移植するのは、甚だ獎勵すべきことで、これ等の人々が、皆、健實なる商工業を營み、支那人にも利益を享けしめ、其の滿足して邦人と共に文明の道に進むのを見るやうになりたいものである。從つて邦人の、滿蒙移住については、各種の利便を計り、努めて其目的を達するやうに獎勵せなければならぬのであるが、不健實な人士の渡來に就ては、邦家の爲めに深く思を致さねばならぬ。

滿鐵告示

京城管理局設置

滿鐵にては七月三十一日より本會社に於て朝鮮總督の委託に因り朝鮮國有鐵道の經營及び其の附帶業務の取扱をなし其の業務を處理せしむるため京城に京城管理局を置く旨社告を以て告示せり又京城管理局の分課規程は總務課、營業課、汽車課、經理課及び建設課とし其の事務分掌は從來と何等差違なく又出張所、事務所及び工場は元朝鮮總督府鐵道局所定の例に依り之れを設け其の名稱位置及び所管區域は從前の通りとする由

鐵道職員改稱

朝鮮總督府鐵道局官制廢止の際滿鐵に採用せられたる者は別に辭令を用ひず高等官及判任官たりし者は會社職員を雇員たりし者は會社雇員を命ぜられ朝鮮總督府より受けたる本俸と同一額の本俸を加俸と同一額の在勤手當を給せらるゝ儀と心得べく又勤務箇所の指定は別に辭令を交付せられたるものゝ外從前同樣なり

一三〇九〇　一〇三九〇　三一五一〇　一〇三三〇　三一七一〇　四一六〇〇　四〇六六〇

清津

▲咸北沿岸の鯖漁　咸北道本年の鯖漁は一般に[illegible]終り[illegible]合に[illegible]あるが元來鯖漁は沿岸五十尋乃至六十尋までの所にて漁獲され夫より沖合は漁網の關係上漁獲せられ[illegible]に於て鯖群の遊弋に遭遇し試みに網を投じたるに魚群の網下より逸するなく數萬尾を獲るより茲に大に勢[illegible]斯の如く從來五六十尋の沿岸ならでは漁獲されざりしものが百尋乃至二百尋の沖合にても漁獲さるゝ事とせ[illegible]長きに亙るべく以上の實況に依て北道の鯖漁界は一新生面を革するに至るべしと

▲間島本年作　間島本年[illegible]に至り一時悲觀の狀況に陷りたり又[illegible]ならず僅に三四寸にして出穗を見る[illegible]は假して適當充分なる雨を得べければ[illegible]天候に格別なる變調なくば良作なる[illegible]粟、麥、玉蜀黍、[illegible]、高粱は害蟲發[illegible]事疑ひなきもの如し大小豆其他雜[illegible]

印刷人　小川三之介
發行所　京城府[illegible]一丁目　合資會社　京城日報社

京城日報

鮮滿鐵道統一（乾）

吾人は、曩に鮮滿蒙統一論を草し、日鮮滿蒙の經濟的に統一せざる可からざる所以を論じ、敎を大方の君子に乞ふ所ありたり。而して今や滿鮮鐵道の併合案、本期議會を通過し、樞府の審議を經て、八月一日を以て之が實施を見るに至りたるは、鮮滿蒙統一の第一著歩として、大陸統治の前途の爲め、喜ばざるを得ざる所也。

朝鮮鐵道は、京釜、京義の二大線を合して一幹線と爲り半島を縱貫し、南端釜山より起りて、北端新義州に至り、鴨綠江を渡りて滿洲安東に達す。全延長五百九十二哩一分。湖南線は、京釜線大田より起り、木浦に達する幹線と、裡里より分岐して群山に至るの支線より成り、其の延長百七十六哩。京元線は、京釜線龍山より分岐して元山に達する延長百三十八哩の咸鏡線は京元線元山に起り、會寧に至るものにして、已に開業せるもの、元山、永興間延長三十三哩。及び淸津、蒼坪間三十二哩。其他、支線中永登浦より岐れて仁川に至るものを京仁線。三浪津より馬山に達するものを馬山線。平壤より鎭南浦に至るものを平南線。平壤より寺洞に向ふものを平壤炭鑛線。黃州より兼二浦に達するものを兼二浦線と爲す。此の如くにして今や全線延長實に一千六十六哩を算するに至れり。

滿洲鐵道は、南滿、東淸、京奉、吉長、及び齊昂の五線にして、南滿鐵道は、幹線、大連、長春間四百三十七哩。支線、臭水子、旅順間三十二哩。大石橋、營口間十四哩。蘇家屯、撫順間三十哩。煙臺、煙臺炭坑間九哩。安奉線、奉天、安東間百七十一哩あり。東淸鐵道は幹線滿洲里、綏芬河間九百二十哩。支線哈爾賓、寬城子間百四十八哩。札蘭諾爾、炭鑛間七哩あり。京奉線は、幹線北京、奉天間五百二十三哩。支線溝幇子、營口間五十七哩。高橋、天橋廠間七哩。連山、葫蘆島間七哩。湯河、秦皇島間六哩。北京、通州間十六哩あり。吉長鐵道は、長春、吉林間七十九哩。齊昂鐵道は齊々哈爾、昂々溪間十八哩あり。全線延長二千三百七十三哩を算し、朝鮮鐵道と相俟て、歐亞交通の要路として、殆んど其の遺憾無きに庶幾し。

今や、鮮滿鐵道統一の形式が南滿鐵道の委任經營を爲るに於て、其の結果幾多從來の缺陷を補ひ、國際聯絡の統一を期し、植民地鐵道の利用を完全ならしめ、啻に形面上のみならず、經濟的關係に於て、將來、其の利益を增進するは勿論。且つ一朝有事の日に於て、一層其の效能を發揮すべきこと、殆んど疑を容れざるが如し。是れ亦國防上に於て、鮮滿鐵道統一の已む可からざる所以也。

吾人は更に我が大陸統治政策の經過を察するに、彼の三十七八年役の結果、一方に於て日韓併合の大事を決行し、朝鮮總督府の設置と爲り、爾來六星霜、寸兵尺鐵を用ひずして併合の成果を徵象すると同時に、滿洲に於ては、關東都督府の設置と爲り、南滿洲鐵道の經營と爲り、最近に於て、東蒙の開市と爲り、蒙古五鐵道敷設權の獲得と爲り、而かも南滿洲經營の中心地點が大連より漸次北進して奉天に移り、南滿鐵道が安奉線を通じて朝鮮鐵道と聯繫を保つに至りたる所以のものは、確かに我が帝國が大陸統治の政策に於て、成功の緒に就きつゝあるを證するもの。我が帝國が百尺竿頭一歩を進めて、鮮滿鐵道の統一と、植民地行政機關の改革とを圖り、大陸政策の基礎を確立せざる可からざるは今日の急務たり。吾人は、支那本部の動亂相踵ぎ、其の影響の延きて帝國の利害に波及するものあるに想到する毎に、未だ嘗て其感を深うせずんばあらざる也。

◎露國首相の負傷

紐育來電＝西南部戰線に向へる露國首相ケレンスキー氏はブゼザ戰線附近にて腕部に負傷せり（大阪特電）

◎第一艦隊獨立取消か

第一艦隊廣東に向ふ途中艦員の遁亡するもの續出し終に獨立を取り消すに至るべし（北京特電）

◎拓殖調査委員會役員任命

拓殖調査委員會役員三十一日左の如く任命發表ありたり（東京特電）

拓殖調査委員會委員長 内務大臣男爵 後藤新平
被仰付

法制局參事官 松村眞一郎
外務省通商局長 中村巍
内務監察官 赤池濃
大藏省理財局長 神野勝之助
司法省法務局長法學博士 豐島直通
農商務省商工局長 岡實
文部次官 田所美治
遞信省通信局長 中川健藏
朝鮮總督府參事官法學博士 秋山雅之介
臺灣總督府民政長官 下村宏
關東都督府民政長官 宮尾舜治
樺太廳長官 昌谷彰
正四位勳三等農學博士法學博士 新渡戶稻造
正五位勳四等法學博士 松本烝治
正五位勳四等法學博士 河津暹
正五位勳五等法學博士 牧野英一
從五位勳六等法學博士 松岡均平
拓殖調査委員會委員被仰付 從四位勳四等 岡松參太郎
拓殖局書記官 得能嘉吉
拓殖局調査委員會幹事被仰付

新任拓殖局長官 白仁武氏

◎拓殖局高官任命

三十一日新設拓殖局高官左の如く任命發表ありたり（東京特電）

文部省參事官正六位 岡田寛
臺灣總督府警視正六位 得能嘉吉
任拓殖局書記官（四等）「各通」
朝鮮總督府事務官從六位勳六等 入江海平
任拓殖局書記官（五等）

新任朝鮮總督府鐵道局長 人見次郎氏

◎都督任免

陸軍中將中村雄次郎男三十一日關東都督に任命されたる事は既電の如くなるが同時に左の如く發表ありたり（東京特電）

陸軍大將正三位勳一等功二級男爵 中村覺
補軍事參議官
陸軍中將正三位勳一等功四級男爵 中村雄次郎
特ニ現役ニ列セシム
關東都督 中村覺
免本官

◎隈部少將任命

三十一日隈部陸軍少將に對し左の如く任命ありたり（東京特電）

陸軍少將正四位勳二等功三級 隈部親信
任關東都督府警務總長
朝鮮總督府參事官從五位勳六等 人見次郎
任朝鮮總督府鐵道局長（一等）

◎辭令

三十一日左の如く辭令ありたり（東京特電）

同事務官從五位 荻田悅造
任朝鮮總督府總務局長（二等）
同鐵道局參事從六位 和田駿
任朝鮮總督府事務官（五等）
同副參事從七位 澤崎修
任朝鮮總督府事務官（七等）
同技師從五位勳五等 新田留次郎
任朝鮮總督府技師（三等）
同從六位 岩崎眞雄
任朝鮮總督府技師（五等）
同從六位勳五等 今泉茂松
任朝鮮總督府技師（五等）
同從七位 永田光之助
任朝鮮總督府技師（七等）
同從七位 岡本淸
任朝鮮總督府技師（七等）

◎韓相龍氏光榮

漢城銀行專務取締役韓相龍氏に對し卅一日左の御沙汰ありたり（京城特電）

勳四等 韓相龍
金盃一組ヲ賜フ

◉鮮鐵委託經營に關する要領

（一）總督府は南滿洲鐵道株式會社に對し朝鮮に於ける國有鐵道の建設改良、保存運輸及び附帶業務一切の經營を委託す
（一）前項國有鐵道は現在營業線及び將來建設せらるべき線路を含む
（一）朝鮮鐵道の損益は別個の勘定とし南滿鐵道會社は朝鮮鐵道より生じたる利益が總督府の支出額（五千百九萬二百十六圓）に對し百分の六に達する迄は其全額を百分の六を超過したるときは其の超過部分の半額を加へたるものを總督府に納付すべし但し損失ありたるときは翌年以後の利益を以て補塡するものとす而して大正六年度以後總督府に於て支出すべき建設及び改良に要する資金を加算するものとす
（一）總督府は朝鮮鐵道今後の建設改良に要する資金を負擔す
（一）朝鮮國有鐵道の事務を處理する爲南滿鐵道會社に於て京城に理事一名を置く
（一）委託期間は契約調印の日より滿二十箇年とす但し朝鮮總督は必要に應じ何時なりとも契約を取消し又は戰時若は事變に際し臨時の處置を命ずることを得
（一）南滿洲鐵道會社は朝鮮に於ける國有鐵道の經營に付朝鮮總督の指揮監督を受くるものとす

▲分掌規程改正

鐵道統一實施に伴ふ朝鮮總督府事務分掌規程は三十一日附訓令第三十二號を以て左の如く發布せられたり

第四條の二 總督官房鐵道局に監理課及工務課を置く
監理課に於ては左の事務を掌る
一 委託國有鐵道の一般計畫に關する事項
二 委託國有鐵道の運輸及附帶業務に關する事項
三 委託國有鐵道に屬する官有財產の整理に關する事項
四 私設軽便鐵道及び軌道に關する事項
五 局內他課の主管に屬せざる事項
工務課に於ては左の事務を掌る
一 鐵道線路の調査に關する事項
二 委託國有鐵道建設及び改良工事の計畫及び監督に關する事項
三 委託國有鐵道の保存に關する事項

▲理事長告諭

新滿鐵社員に對する

今次我會社は朝鮮總督の委託に依り朝鮮國有鐵道經營の任に膺る事となり本日を以て諸般の引繼を了したり惟ふに朝鮮鐵道は近二十年來吾國力の伸張に伴ひ最も光輝ある歷史を有し其の營業成績の如きも亦逐年好况を示し將來の發達期して待つべしと雖も自然の地位に於て吾が南滿洲鐵道と密接離るべからざる關係にあり加之兩鐵道は世界の公道として交通上の使命輕からざるものあるが故に之れを同一經營の下に置く時は啻に兩者共通の利益を擧げて能く之れを收むるに便なるのみならず鐵道本來の機能も亦始めて完全に之れを發揮する事を得るに至るべきなりと想ふに政府今次の議蓋し亦茲に鑑みらる所あるに由らずんば非ず會社は愼しみて政府の趣旨の存する所を體し謹つて委託に酬ゆる所あらん事を期す是れ洵に會社の榮譽とする所なると同時に會社の責務は更に一層の重きを加へたるものと云はざるべからず凡そ事を爲すは人に在り唯其人に在り今本職が頼んで此の會社の責務を果し國家に報效せんとするは是れ一に社員諸氏が全心全力を傾けて忠貞事に當らん事を期待するに在るのみ冀くば諸氏思ひを茲に致し上下一體心を盡し力を協せ一家同族の親和を以て互ひに相信じ相扶け益々奮つて犧牲の精神を砥礪し私を去り公に就き一意其の職司を勵み以て兩鐵道の改善整備を圖り以て政府委託の趣旨に副ひ會社の責務を完うする事に努力せられん事を望む

大正六年七月卅一日
滿鐵理事長工學博士 國澤新兵衛

△大屋長官告別の辭

我が朝鮮鐵道の經營を擧げて南滿洲鐵道株式會社に委託するの廟議決定し本日を以て之れが引繼を施行せらる翼に京釜鐵道の買收に次で軍用鐵道を統監府に移管し朝鮮に於ける鐵道統一の端を啓きてより茲に十有一年常に半島拓殖の先驅となり能く朝鮮施政の方針に順應し內は地方交通の面目を革め外は歐亞連絡の公道を開き今や各般の施設略其の緒に就くを得たり然りと雖も時勢の進運は更に進んで鮮滿兩鐵道經營の統一を必要とするに至れり、本職乏しきを以て命を長官に奉じて以來夙夜職責の輕からざるを念ひ微力を傾倒して以て今日に及べり然も此間幸に事功の見るべきなく衷心慚愧に堪へずと雖も幸ひに大過なくして尸素の譏りを免かるゝを得たる所以のものは誠に諸子が勤勉努力の賜たらずんば非ず之れ本職の深く感謝する所なり今官を廢せらるゝに當り別れを諸子に告げむとす十年の宿縁、胸奥に去來し別離の情轉た禁ずる能はざるものあり想ふに我が朝鮮鐵道の前途は益々多端にして百般の施設諸子の獻替に待つもの頗る多し冀くば至誠力行事に應じ以て邦家の委託に背かざらん事を

◉平壤丸試航

淸津より城津元山を經て敦賀へ航行する朝鮮郵船社船平壤丸日本海橫斷臨時一航海試航の乘客荷物とも三十日を以つて申込の締切を爲したるが荷客共滿載の盛況なり元山出帆は一日正午にして農商工部より本岡事務官朝鮮郵船本店より廣瀨氏同地出帆視察の途に就く由

◉京漢鐵道不通

京漢鐵道沿線河南北部洪水の爲め汽車不通となり目下開通の見込み立たず（北京特電）

◉地查委員會

三十一日午前八時三十分より總督府第二會議室に於て高等土地調査委員會を開き不服申立に關する件を審議の上十一時散會したり

◉商議評議員會

仁川商業會議所は七月三十一日午後一時より會議所樓上にて評議員會を開き（一）大正七年度豫算に關する件（二）賦課率決定の件（三）給與規定中一部改正の件を附議せり（仁川）

◉秋山大將歸任

北鮮巡視中なりし秋山軍司令官一行は二十九日午後五時龍山驛著列車にて歸任せり

◉隈部少將赴任

關東都督府憲兵隊長に榮轉せし隈部陸軍少將は豫定の如く三十日午後九時四十分南大門驛發の北行列車にて赴任せしが定刻前驛の構內には秋山軍司令官師團長代理を初め宇佐美內務部長官、松永京畿道長官以下總督府を初め各官廳高等官、又古海警務總長以下京城及び京畿道管內の各隊署長憲兵警察官全部、裁判所側各長官、趙重應子爵を初め朝鮮貴族、京城居住紳商、新聞記者團在鄉軍人等約一千五百餘名の見送人ありたり

◉大屋氏告別

大屋前鐵道局長官は三十一日午後より一日に亘り各主なる向を歷訪し歸東に付告別の挨拶をなす

◉前鐵道長官送別會

大屋前鐵道局長官に對する鐵道局員の送別會は卅一日午後七時より朝鮮ホテルに於て開催せしが盛會なりき

□重要電報＝欄外にあり

■南言北語■

獨探の毒手は露西亞を攪亂し東洋に迄惡魔の手を延ばして支那を引つ擾き廻つて居る▲ジーゲルとか云ふ名からゲジ〳〵に似た男は大膽にも北京に一大擾亂の陰謀をやつて居たが發見されて捕へられた▲支那に居る獨探の親分と云へば先づ北京獨華銀行總辦のコルデス▲獨華日報通信員のクルーゲルと上海の獨逸總領事クリッピング等であらう▲彼等は今迄庚子賠償金を蓄積して數千萬元を機密費としてコルデスが持つて居る▲だから萬事金の支那では何でも思ふ樣に出來るのだ▲クルーゲルと云ふ男は頗る支那語が巧みであるから顯貴大官を訪問して滔々支那語で天下の勢形を論ずる▲彼は實際に於て何れに行くも木戶御免の觀がある▲彼れは段內閣は決して宣戰せない若し段內閣が獨逸に宣戰する樣な事があらば拙者は何方にでも此の首をお渡し申す▲世界は今や日本と獨逸のみ若し日本が段內閣に强要するに宣戰を以てしたなら或は成らんとも保證は出來ぬ▲さもない時には決して有るべき道理がないと大氣焔を上げて居るが▲日本をお引合せに出すなんか迷惑千萬である▲イヤ迷惑處ぢやないきつぱりお斷り申す▲此の調子で南方の民黨運をドシ〳〵買收して居るから溜らぬ▲買收せられた民黨連は獨逸の傀儡とあつたので列國から同情がなくなり▲却て段內閣が同情を引きつゝあるの觀あるは面白い▲行かうか行くまいかイヤ行かうイーヤ行くまいと南京で此の暑いのに甎を捻つて居る馮君なども▲其處の事情をチャーンと知つて居るからマア〳〵暑い時には涼しい處に居るに限ると怜巧な考へを仕て居るらしい▲矢ツ張り支那の事は支那人でも判らぬから他國人に判らう筈がない

◎英國下院の平和討議

[illegible]氏は獨逸議會の決議案を社會が寬假以上に重視せるを指摘し獨逸にては前記決議案を實行する準備なしと論じ勞働黨を代表せるソード[illegible]

◎米軍事豫算百七億

[illegible]

◎露政府軍事報道檢閲

[illegible]すべく日本政府の同意を求むる爲めなりと觀測されつゝあり（北京特電）

鮮滿鐵道の統一
新しき夏座敷新築落成
京城旭町一丁目
會席御料理 松秀庵 白水
電話 長一七一四番 長一三九一番

鮮滿鐵道の統一
內外織物敷物及室內裝飾品並洋家具消火器類
京城本町一丁目四
橫山隆一支店
電話長一六七番

鮮滿鐵道の統一
會席御料理
京城旭町一丁目
喜久家

鮮滿鐵道の統一
葉煙草輸出入商
京城太平通二丁目五八番地
伊藤商行京城支店
電話二八六九番
本店 上海黃浦路三一號
支店 漢口、九江、廣東、香港
出張所 東京、大阪、台北、其他

朝鮮運輸聯合會々長
大和與次郎
京城府龍山漢江通

…マクドナルド氏は…を提出し七月十六日發表されたる獨逸首相の演說…下院は贊成の意を表し交戰の目的に關して近く開かるべき聯合會議には…其の外、民主的代表者をも列席せしむべしと要求せり右に對し前首相…は軍事上の形勢に基因せるなりて其内實は空虛なりと述べマクドナルドの案は十九票に對する百四十八票の大多數にて終に否決せられたり（倫敦電報）

…而して是は聯合國への貸付金の外なれば追加豫算として六百五十億弗を準備すべき必要あらん」と（倫敦電報）

●有賀博士東上用向

有賀博士の東上したるは段内閣より任期を一箇年間延長

●著慣れた制服を脱いで

―滿鐵の職員となつた鮮鐵局員の胸の中の感慨は蓋し少なからぬものがあらう―

其日の朝、局内の空氣は搖いた

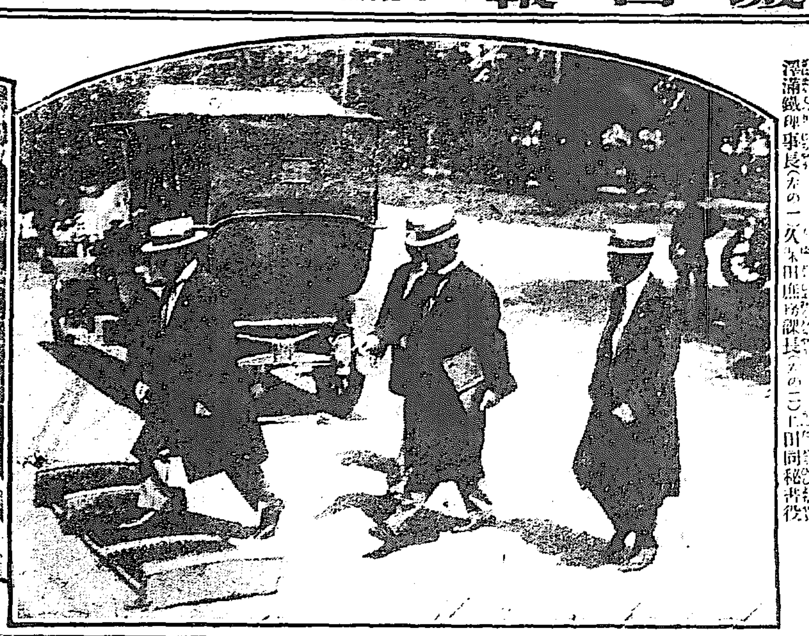
朝鮮鐵道一千餘哩の經營を滿鐵に委託する其日、乃ち七月三十一日は朝來鐵道局内の空氣がザワめいてゐた地方から態々出局した人もありそれらの人々や、又局員がアチコチに鬩つたりしてヒソ／＼話してゐるのもある

◆何しろ長い間著馴れた文官制服と短劍を翌日から脱がねばならぬ日である局員胸中の感慨は蓋し少なからぬものがあらう、十一時一臺の自動車が白い埃りを颺げ疾驅して來た、それには大屋長官と入見理事と荻田總務局長が乘つてゐた、鐵道局の高等官は殆んど全部表玄關に出て來て一行を迎へ更に來るべき自動車を待ち受ける、十一時十五分又二臺の自動車が飛んで來た

◆第一の自動車が著くと山縣政務總監と高橋武官と遠藤秘書官が下りる、第二の自動車からは國澤滿鐵理事長久保庶務課長上田秘書役それから便乘して來た猪原朝鮮ホテル支配人が下りる、とそれらの人の波は山縣政務總監大屋長官國澤理事長等を先頭として階上の特別室に上つて行く、特別室には高等官、判任官二百餘名の局員が集まつてゐる、そこで政務總監は總督の訓示を代讀し、國澤理事長は告諭をなし、それに對し横井管理局長は謝辭を述べた

◆十一時三十分式を終ると大玄關の横で前列には政務總監を中心として左に大屋長官三本荻田和田の諸氏右に國澤久保横井入見高橋の諸氏が並び其の背後に三十餘名の高等官が立ち並んだ、撮影が濟むと、食堂で大屋長官の告別式があり、其後幹部の面々は長官室や總務課長室に團まつて何か頻りに協議してゐた、尚ほ鮮鐵より滿鐵に引繼がれた職員には

◆勤務年數と階級に應じ俸給の八九箇月分以内の手當を交附する辭令を出したので、少し遲れて少なからぬ中元を得たやうな感がしたらう、又從來鮮鐵の局員は理事參事副參事參事補書記技師技手と頗る多くの階級と種類があつたけれど滿鐵では其社規により一律に職員として終つた



▣鐵道統一調印の後＝鐵道局へ向へる山縣政務總監（左の一）國澤滿鐵理事長（左の二）久保田庶務課長（左の三）上田同秘書役

●戰亂の影響の尠い浦鹽

◇食糧品の專賣若くは制限販賣をした事が無い◇

著しく缺乏したのは毛織の被服

浦鹽が戰亂の影響を蒙る事の比較的微弱なるは其の中央政界動亂の影響を蒙る事の少なきに似て居る戰亂後歐洲交戰各國が極度に食糧品及び日用品の

◻缺乏を訴へ　居るに拘らず浦鹽に於ては未だ曾て食糧の缺乏を告げたる事なきのみならず其の價格も亦割合に低廉である沿、黑兩州に亙る曠漠なる原野には極めて耕地少しと雖も其の産穀は州内及び

◻浦鹽附近の　需用を充たすに餘りあり且つ從來日本支那米國等より輸入されたる食糧品の多くは一度浦鹽商人の手を經て歐露に輸送せらるゝを以て浦鹽に於ける食糧品は今日に至るまで缺乏を訴へず隨つて歐洲各國に於けるが如く食糧品の專賣若くは制限販賣等を爲したる事なくたゞ牛肉のみ

◻一週二回の　制限賣買を爲したるが近來其の制限を撤廢し其の價格は上肉一斤二十五錢位である戰爭に由つて著しく缺乏したる生活用品は毛織の被服である、從來は服屋の店頭には何時も仕立上げの毛織被服が澤山に掛け聯ねてあつたが開戰後殊に近來は

◻仕立上げの　羅紗服などは殆ど目に著かぬ位である勞働者階級にあつては襤褸を綴ぎ合せて漸く肌を敵ふに過ぎぬものが尠くない此の頃發布された外國爲替禁止令が實行さるゝに至らば或は浦鹽も食糧品日用雜貨品等の窮乏を告げるやうに成るかも知れぬ、以上述べた通り浦鹽は

◻戰爭及政變　の影響比較的少なく近時露國を風靡して其の國家を毒しつゝある勞働者の跋扈も浦鹽に於ては甚だしき程度に至らず極めて平穩無事である、物價の騰貴及びルーブルの下落等は彼等を驅つて勞銀の値上げを要求せしめ其の手段として

◻同盟罷工の　止むなきに至らしめたるも毎に大事に至らずして終熄せり之れ浦鹽が比較的彼等の爲め生活し易き處なる事を證明するものである浦鹽には支那人朝鮮人等の勞働者も少くない彼等は從來の關係上露國人勞働者の一喝に逢へば直ちに

◻縮み上つて　仕事を止める習慣がある故に船舶荷上人足の他は陸上の職工又は人夫としては支那人朝鮮人は殆ど當に成らず朝鮮人勞働者の如きは常に露國人勞働者に極度の壓迫を加へられつゝあり日本人勞働者は從來殆ど見ざりしが

◻近頃二十名　ばかりサガレン金鑛人夫流れ來り荷揚人足として働き居れるが日本勞働者は乏しき土地だけに其の結果は甚だ面白からざるものあるを以て多分退去命令を發せらるゝたらんと思つて居る（浦鹽特派員）

●女の胸を突く

京畿道水原郡城湖面伐音里農徐相弼（二二）は本年四月二十六日夕刻酩酊し同里徐鶴鎭方に行き惡口したる上戸障子を蹴破りて暴行するより鶴鎭妻李聞新長男相根の妻韓氏の兩名が同人を戸外に押し出したるに益々荒びたる同人は李聞新の胸部を三回突きて心臟麻痺を起して其儘卽死せしめたるより相弼は水原署に逮捕され此の程京城地方法院の公判に附せられたり

●紙幣僞造を種に八百圓の詐取

黃海道鳳山郡總灘面長成洞生れ京城紅把洞居住前科數犯金相旭（二二）は本年六月頃市中の古物屋にてニッケル製洋食用の珈琲立て一個と酒精洋燈染色粉其の他數個の器具を求め之れを使用して紙幣僞造をなすと稱し外二名の手先を使嗾して東大門外某家の一室を借り受け京城に來る物持ちの田舍鮮人を物色して呼び寄せて恭しく見せ掛け神秘の魔法を以て此の器を禮拜すれば瞬時に眞個に紛ふ方なき一圓紙幣を作製し得べしと巽きに入れある眞紙幣を取出して見せて誤信せしめ以て資金名義の下に自稱江原道春川郡の洪鍾寬外三名より前後數回に金八百圓を騙取したるを鍾路警察署の刑事が探知し引致取調べの結果前記の罪狀を自白したるより被害者其他につき目下引續き取調べ中

●小さき胸に憂を秘めて

少女投身未遂

三十日午後八時頃龍山孝昌園内を年齡十七八歲位の袴を著けたる女學生風の少女が物思はし氣に徘徊中を鮮人の若者等が尾行して嘲り居るを龍山分隊元町出張所の憲兵が發見し同伴して取調べしに少女は京城蓬萊町一丁目福田政治方淸水たけの（一七）と言ひ前夜無斷家出したる旨申立てしが家出の原因に就いては多く語らざるも福田は汽車の車掌を勤め居る實父某は同女の幼き頃死亡し實母に連れられ福田を義父として目下同棲中なるも何やら家庭に面白からざる事情あるものゝ如く世を悲觀して前夜家出の後燒きつける如き三十日を終日漢江岸を徘徊し自殺を企てんと投

●赤痢とチフス

京城竹添町二丁目百廿五番地三井ちよ（二七）は三十日の出町二十四番地岡本文雄（九）は何れも三十日赤痢として診斷旭町一丁目百三十二番地千輪田鶴江（五）は三十一日赤痢又龍山靑葉町三丁目八十二番地姜化栽（一三）は二十八日腸窒扶斯として何れも入院加療中

●女子を郵便配達夫に

九州遞信管理局の計畫

郵便配達夫缺乏の結果九州遞信管理局にては女子を配達人に使用せんとて遞信省に伺ひ中なり（東京特電）

●行囊强奪犯人

支那直隷省生れの苦力郭廷榮（二五）瓶鳳山（三二）駱儒福（二一）三名は七月四日咸北城津郡鶴西面細川溫泉場を通過する城津郵便局遞送人を追蹤し同面新興洞古堡嶺に於て各自混棒を揮ふて暴行を加へ郵便行囊五個配達鞄一個を强奪して逃走し各所に潛伏し居りたるを逮捕せられ此程咸興地方法院の公判に附せられたり

●若葉會の大發展

京城の活動人物で組織されてる若葉會は七月例會を南山二十九日夕刻より南山の白水で開いた、…は同會發起者の一人たる淺岡重吉君の送別を兼ねるとありて格別の暑さにも拘らず五十餘名の人が全集した▲七時半頃には開會といふ運びになつて大廣間に白布を敷いた卓子を圍んでおでんやら鹽摩汁やら壽司やら總て闔遊聯式の御馳走に熱燗冷ビールと思ひ／＼に精々若い處を發揮して飲むほど／＼▲中には大ぶ頭骨の白い御仁も見られたが御本人達は何れも『私は年は別として氣はまだ以て充分若い積りで』など、扇子を使つて言ひ譯をして御坐つた▲席に侍つた枝藩連十餘名が何れも選り拔きの粒揃ひの處へ、岸上游衣掛けで汗を厭はず幹旋するので會員全く以て有頂天の底拔け騷ぎで、席亭の挨拶があつて淺岡君の謝辭演說まではいくらか神妙であつたが▲それが濟むまでには早や隙も縮つて感興十二分の體、さても出たりけり餘興の數々我れ劣らじと舞臺に驅け上るもあれば尻を押されて頭掻き／＼隱し藝を明るみに持ち出すもあり、太鼓三味入りのアアヤツさいと大騷ぎ何と云つても淺岡君のお別れ盛興が最大喝采を博した▲會費一圓で大散財とは…が引受けた料理屋こそ…迷惑でもあらうか、何が扨て京城の若手の末輩もしいお方々は將來大事のお客たとあつて白水では損得は勘定致しませぬと亭主初め女將まで諸肌拔きで…[illegible]…先生勝手に酒狹して居つた。

●山岡薩南歡迎演奏會

京城松風會にては今回入京せる薩摩琵琶の名手山岡薩南氏の入京を機とし來る二日午後六時より…に於て歡迎演奏會を開催し一般同好の士の入場を歡迎する由因に入場料は二十五錢なりと

雨が降らないので水道の騷ぎが始まつた論で揉めてゐるのは田舍の事とのみ思ひきや▲ツイ目と鼻の先なる南山町で此の騷ぎが始まつたとは皆樣も御存じあるまじ▲所は南山町黃鳥谷下の烏丸と申す料理店で烏丸といふ家がある▲近頃水道が夜間正六時からピタリと止る爲め近所の者は内鮮人の別なくツイ此處の前に在る掘井戸の水を汲みに來るので掘井戸までが斷水すると云ふ始末に捨置かれず▲マア井戸の廻りに竹の矢來を廻ぐらせて誰でも汲ませない事にしたと思召せ▲所が此の土地は其上の同じ料理店靜陽軒の地所になつてゐるので靜養軒でも實は其の井戸の水を今まで使つてゐたので自分の土地の井戸の水を汲ませぬとは不都合なりとあつて▲靜養軒の主人が烏丸へ吐鳴り込んだが遂に要領を得ないので揩つた揉んだの揚句▲到頭靜養軒は自分の土地だと云ふ所から烏丸の入口の通路を塞いで了つたのでコゝに水論の火の手が一層高まり目下鍋道樂が仲へ入つて仲裁中だといふが▲扨て此の先きが何うなるものだらうと花山湯で浴客の噂しを共まい

麥酒界の花と謳はるゝ

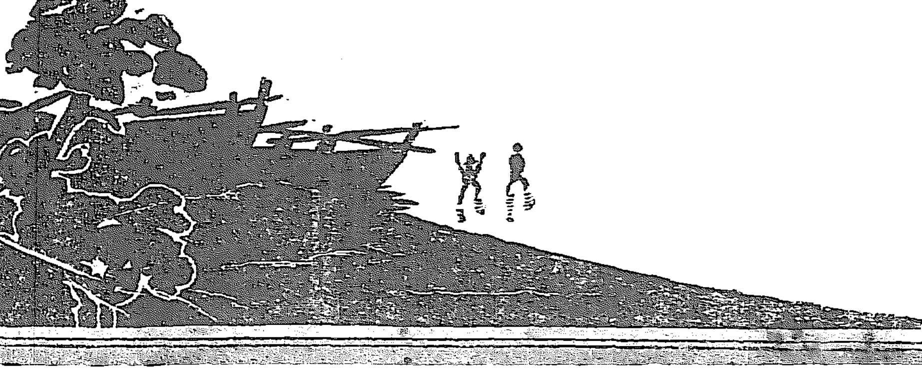
風味芳烈な

サクラビールは

都鄙到る處

賣行全く飛ぶが如し

各位の御愛飲を乞ふ



店仕舞特別大安賣

八月三日より赤札附

轉業の爲め商品全部

何品に不限殆んど

正札の半直段にて提供

織物界は日を逐ふて暴騰に暴騰を重ね先物四五割高の現狀に候

此度の見切直段は冬物現狀の三分の一位の割合に相成候間此の好機を逸せず精々御買上願上候

京城本町二丁目

山口呉服店

追て呉服券御所持の御方は八月十日限り御持參御引替被下度候

花筐（七一）

松田竹の島人作

お琴は、早見の言ふことの意味は能く解つてゐた。だから自分の身を恥ぢて、默つたまゝ首を俯垂れた。早見は、其可憐の狀を見て、餘り言ひ過ぎたかと、幾らか可哀想な氣が爲た。

『市野程の位置に成れば、妾の一人や二人何んでもないことだが、妾を置くと家庭の平和を破るからね。お前は未だ詳しいことは知るまいが、市野の妻君は、市野が大變世話に成つた石島といふ先生の女さんだから心配させると義理が立たんことに成るのだよ。僕が恁うして態々遣つて來たのは、お前に市野の妾と成ることを思ひ止まらせやうと思つたからさ。僕が恁う言ふと、以前お前との關係が關係だッたから、嫉妬心の爲めだと思はれちや困るよ。僕は市野を思ひ、然うしてお前の身體を將來清淨で送らせたいと思つたからだ、什麼か惡るく思はないやうにしておくれ。』

『御親切有難うございます……けれど早見さん、妾が市野の旦那樣の御世話に成るに就いては、其内旦那樣に願つて、抱への龜本の方の借金を拂つて戴いて、素人に成らうと思つてゐたんですが、それが能きないことに爲りますね。此方に來たのは元來養生の爲めでしたから、今のやうに健康に成ると、龜本へ歸つて、又お座敷へ出なけりやなりませんですね。』

『今右から左へ、お前の借金を拂うといふ譯にも往かんから、仕方なしに又出るのだね。』

『然うすると、妾は又濁つた水の中に居なくツちやならないことに成りますね。』

お琴は、夏の炒々する日光に照りつけられた、草花のやうに打ち萎れて言つた。

『其處だよ、僕が言ふのは』と早見は活々として、そして語を續けて

『お前が再び藝者で出ることは、決して良いことぢやないが、今の場合已むを得んからね。藝者でゐても心を高尚に清く持つてゐるんだね。比喩に泥中の蓮といふことがある。』

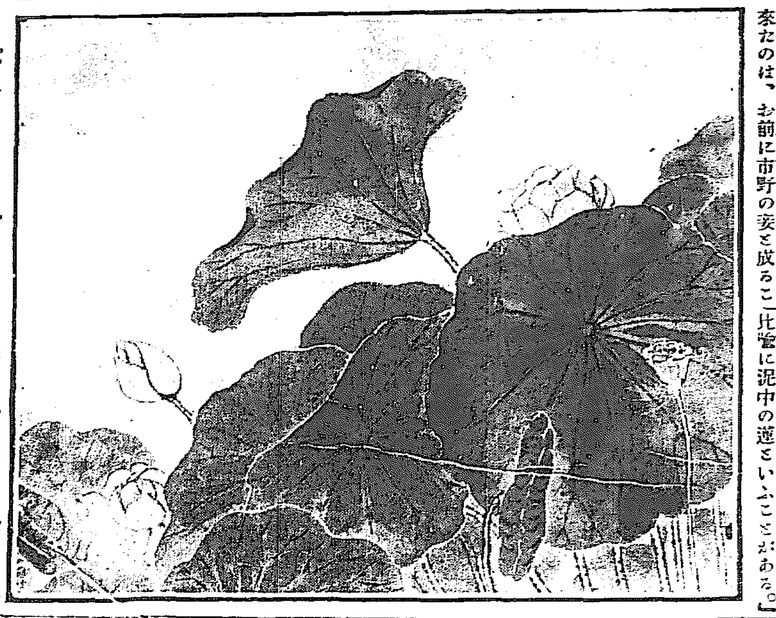
『其麽ことと言つたつて、妾には解りませんよ。』

『今解るやうに言つて聞かせるよ。泥中とは泥の中といふことで、蓮は不潔い泥水の中に生じてはゐるが、其花や葉は、不潔い泥水に穢れないで綺麗だといふことさ。お前が再び藝者で出るとすると、泥中にゐることに成るが、縱令泥中にゐても蓮の花のやうに清くしてゐれば、身分の賤しい藝者でも、心の腐つてゐる華族や富豪の妻君や令孃よりも遠く勝るのだ。』

早見は、嚙んで啣めるやうに、說いて聞かせた。

如何に教育のないお琴でも、恁う諄々と說かれてみると、感じずには居なかつた。

『解りました、もう妾は其意で稼ぎますよ。』



『清い藝者として稼ぐのだね。然うすると人が醜業婦だッて侮蔑つても自分の心では一點恥ぢるところがないから、更らに構つたことはない。然うして金を儲けたら、親父さんへ遣つて、其心を慰めるのだね。親父さんだッて然うだらう、女を人の妾妾にして置いて、其助けによつて生活して往くよりも、骨は折れるが、清く勞働して往く方が、甚麽に可いか知れない。何んでも人間は心の持ちやう一つだ。僕はお前に夢中に成つて、既濟の人となつた爲めに、會社を失敗つて、人からは彼れ是れと惡るい噂を立てられてゐて、今では其日を送るにも困つてゐる、併し何にも一つ後暗いことはないから、心では更に恥ぢることはない、なあに僕だッて、何時まで今のやうに貧乏してるもんか、其は僕の正直なのを見て、何時か世に出してくれるだらうと思ふ、將來お前とは戀を捨てゝ、唯知り合ひとして、清い交際を爲て往つて、世に出られるやうに爲つたら、何にかとお前の力に爲つて遣らう。』

『何分願ひますよ。是は賴りのない身體ですからね。』

日報俳壇

茂

茂り晴き社頭を飛ぶ白き蝶　六轉
擔軍の午睡して居る茂り哉　同
氷庫の旗はためくや茂り風　隈山
茂る樹影に馬車次擄る海道筋　同
鵲の巢も見られぬ楢の茂り哉　小嵐山
土手の向うに蝉切啼りつ茂り哉　同
仰ぐ寺門の茂る高樹に鳩鳴りけり　かよ子
驛前のポプラ茂りにチゲ群れて　同
搭に漂ふ夕燒け雲や高茂り　龍泉
街の茂りに鐘鳴らし居る苦力　海雲寺
ポプラ茂りの渦卷く風に翔る鳥　芳宙

螢

大江の闇白む風に飛ぶ螢　芸窓
灯を消せば風に螢の流れ來て　同
夕闇に軌る橹音や飛ぶ螢　同
螢追ふ兒等去りて靜けさの堤　鴨原
更けし夜の大空を螢飛び交す　同
螢來て我が庭の闇を深ふす　白天

日盛

城下見ゐて斑螢飛ぶ日の盛　六轉
街道の樹々葉を垂れて日の盛　同
日盛を粉碾き馬耳垂れて居り　同
監獄署の屋根がギラ／＼する日盛　夢三
蹲りて土浴びる鷄や日の盛　味川
日盛の徑に燃ゆれ草莓　龍泉
支那饅頭賣る兒の聲や日の盛　隈山
日盛や泳ぎ出でゝは松の陰　芸窓

涼し

川口に潮差して涼しい灯が廣ごり　夢三
答案すんで／＼皆き進む涼しさ　同
巫子の振舞ふ月に涼しき社頭哉　花翁
水鐵砲弄ぶ兒の涼しき唄　小美哉
庭木覺めゆく涼しさに口嗽ぐなり　芳宙

回葉柳會＝第二回螢十句集＝

瀨の音は山に溺すとぶ螢　朋子
螢籠朝風にゆれて月ありぬ　ゑい子
客去りし淋しさを螢かぞへけり　同
馬洗へば闇迫りくるや草螢　同
灯に馴れし眼に闇濃き庭螢　合歡女

□左選千句集募集□第四回迄千句、八月十五日締切□但朝鮮在住の婦人にて且現在句者の紹介ある方に限る（宛所京城西大門官舍岡枝よし子）

大阪株式待電

同新株	三〇一、九〇	三〇三、九〇
東洋製糖	二七一、九〇	二六九、五〇
大阪商船	三九七、六〇	三九六、二〇
日本郵船	[illegible]	[illegible]

既に漁期は經過せるが獨り慶興郡檢[illegible]漁に根據を置ける日本水產會社の捕[illegible]ざるものとなし居るが本年日本水產會社漁船は造山灣に於ける鯖漁が不漁[illegible]を得て夫より盛に漁業を爲し一二旬間に百萬尾の[illegible]ば著しく漁場は擴大され且鯖の沿岸の[illegible]時期は短きを以て從來の[illegible]

[illegible]狀況は春來寒氣強く四月中旬[illegible]降雨ありて播種早き地方は[illegible]生じ多少の被害は一般に免かるべからざるべく而して其後數回の慈雨あ[illegible]豆類は之れ亦旱害にて生育遲々たる有樣なりしも其後の雨潤に依りさ[illegible]

新刊紹介

▲進むべき道（南條文雄著）上篇に於ては吾等の進むべき道、處生の第一義、病人の收容所、成功者の資格、活隱者の覺悟等に依つて處生の覺悟を說き中篇には笑ふて送る一生涯、積善の家に餘慶あり、安心の處生、放光明の生活、家庭と祖還上人等の題を設けて安心の生活を訓へ下篇は今後の社會と吾人の自覺、大和魂の本義、不安心を救ふ道、向上的精神の涵養、他力の根源、宗教心の涵養と教育、靜中の動等に分ちて吾人の使命を力說し、奮鬪努勉以て其の天職を盡し以て意義ある人生を全うするの道を示せり生活難に加はり失意怨恨の昨日に多きの秋本書を一讀せば心機一轉、窮乏の滿足を悟り得べし（一圓三十錢東京日本橋北槇町大阪屋）

▲新譯韓非子（野中元三郎著）韓非子の[illegible]成語、議論等原文の最もの[illegible]を存して[illegible]（一圓[illegible]東京日本橋北槇町一大阪屋）

讀者の領分

水道の事では隨分本欄を賑はして居るが其大部分は當局者の攻擊位で未だ根本問題に觸れて居ない、根本問題は畢竟水道の增設であるが之れは急にものにならない、僕が日常市內の共用水栓を見て居るに隨分亂用の手合が多い、吾京城に裏店住居の大部分は之れだと思ふ、例へば栓を開けてドーッと出しつゝ手を洗ひ泥足を洗ひ或は米研の水が澄むまで流し澤庵は手を勞せずして綺麗にし衣類洗濯の後は盥の儘栓の下に持ち行きて放水しつゝ他の用事をなす間に手洗ひ五升洗足一斗流すが八升位とは實に亂暴だ、斯る手合の爲めに我々が斷水の憂目を見るはやりきれない然らば當局の監督を責むべきかと云ふに僕の考へでは監督はないよりはあるに超したことはないが、神ならぬ監督君の而かも少數の人が多數の監督は有名無實である、僕は共用栓の鍵を渡したならば其家庭を訪問して炊事に必要なる馬穴とかおけとか洗面器とかの有無を調べて可及的調のへさせ全くない家は殊に注意するがよからうと思う、新聞でやかましく云つたり、注意書を廻したりしても讀める手合は先よいとして無學連中は實に厄介だと思ふ（酬梅生）

▲僕が仁丹とか固勝丸とか賣藥を買ひに行くと何にも云はんのに一錢とか二錢とか大抵一割位ゐ引く藥店がある又全く引かない藥店もある藥を買ふのに雜貨と同樣に値段の割引は其藥の信用に係ると思ふ買ふものは少し位ひ引いて貰うよう確實なる有効品を欲しいのである斯う云ふ競爭は衛生上よろしくない（初音町人）

▲近來活字製造屋の橫著なのには呆れる自家製造の粗品にも不拘看板には東京築地活版の活字などゝ豪らさうな書き振りをして又販賣の如きも僅かのものには不親切極まると一般に云て居る今後も少し注意してもらひたいものだ（名刺屋小僧）

京日案內

普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓（匿名一回に拾錢增し）
▲申込後中途解約中止の節は前金返戻せず
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

四つ中古寫眞器賣却す希望者來談至急來談あれ　櫻井町二の九五、池田（電二六四）358
配達員募集　年齡十八歲より廿五歲迄身體强健なる者希望者來談　仁川牛角里　岩本牧場　353
中古六號オルガン二十七圓　二號十圓賣物あり　大和町一の四一　杉野樂器店　356
貸宅地　二坪地均濟　老人亭下七八坪三二坪五に適す　大和町　風色閑雅騷人墨客隱宅向　大和町老人亭下若森保　353
簿記係入用　商業學校出身一名希望者來談を要す（電二三九〇）　食料品商　明治町　竹田出張所　344
信用ある古本と古樂器店　本町ツッボヤ　電二五二七　振三二三　226

番外

發賣元許可土用やいとハリ三十錢一回　本町一ノ三（龜屋橫入）電一三二六　狩野　300

今般市區改正に付き左記へ移轉仕候　京城壽町三八番地　日の出校前　電話三一三　遠藤洋服店　359
有勤人向貸家　四疊半二間湯殿畑付　四疊二疊一間　場所昌德宮橫苑洞　電話二五九九番　高麗人參製藥所　354
本會夜學校は八月一日より廿一日迄夏季休業す　南大門通朝城銀行向ひ　京城青年會　346
產婆　小倉松野　遠近を問はず御依賴に應じ舛　電話（開通二七二六番　京城鍾路一丁目四五裁判所際
新古椅子卓子陳列戶棚書棚製造並に修繕　金庫大釜洋樂器和樂器　黃金町二丁目　室商店　電話二四二一　264
ほねつぎ（うちみくじき）一切の治療御依賴に應ず　柔術道場　明治町　342
恩給年金立替　五年迄利一〇　即時取引退隱料一切千圓以上別契約　京城櫻井町（大正館向）元祖　博多屋本店　283
公債株式現物賣買　東京合資會社福島商會特約店　京城貫鐵洞一五三　電話二三八一番　加藤商店　330
鑛物各種分析　太平町二丁目三六（電話一八二三）遠藤商店向側入る　松永分析所　335
朝鮮語科　英語科　新學期三ケ月修業　各級補缺募集　南大門通鮮城銀行向ひ　京城青年會　346
書記入用　年齡三十歲以下中學又は商業學校卒業見習三年以上當地に相當なる保證人を要す◎履歷書携帶本人來談ありたし　永樂町二　京城十友合資會社
訴訟債權取立應依賴　鑑定は成功の上　應接午後五時迄　京城初音町一七八番地の第一八號　法學士　西川讓
衞生全乳　京城若草町　荒井牛乳搾乳場部　電話龍山一〇〇一四七三一一

土地建物賣却

左記不動產委任ニ依リ賣却ス御希望ノ方ハ來ル八月十日午前十時入札同時開札最低價格以上ノ方ニ契約ス
但入札保證金入札價格壹割ヲ要ス
代金取引ハ契約日ヨリ拾五日以內
大正六年八月
京城黃金町一丁目百八拾五番地
辯護士　岡田榮

一京城府昌信洞貳百貳十五番地
一建物四千貳百五拾壹坪
一同府參平洞拾貳番地
一建物公平洞七拾七坪貳百四拾五坪餘
一同府白五拾七坪建坪
一建物五棟七十八坪六合一勺
一同府鐘路貳丁目
一建物四棟
一同府參拾四坪
一建物貳階建五丁目五十四番地
一同府黃金町壹棟建坪參拾參坪餘
一建物七拾參坪
一同府吉野町二丁目百四番地
一建物貳棟建坪參拾坪六合七勺
一京城府百八拾九坪
一同府千六百九拾九坪
一京畿道水原北部面晋施洞
一建物三棟七拾九坪八坪
一不動產御壹覽ノ義ハ下名ノ處ヘ御越シ被下候得ハ委細說明可仕候

當地在住中は公私共多大の御眷顧を蒙り奉深謝候本日出發歸東致候將來一層の御厚誼に預り度希上候處病中不任其意乍略儀以紙上御挨拶申上候　敬具
大正六年八月一日
大屋權平
同　敦子

最新刊

半七捕物帳　岡本綺堂　七五
長篇講談一休和尚　家庭文庫　桃川燕玉　三〇
南條文雄著　進むべき道　定價一〇三
快傑內藏助　安場末喜　一、二〇
幡隨院長兵衛　碧瑠璃園　一、三〇
世間學　村上浪六　一、二〇
當世百道樂　堀內新泉　九五
科學的園藝寶典　全六冊入　鈴木五段　三、八〇
鐵道旅行案內　鐵道院編　一、二〇
朝鮮鐵道旅行案內　附金剛山遊覧の栞　朝鮮鐵道局編　七〇
近代心の諸象　赤木桁平　一、三〇
自ら救ふ力　大內青巒　一、二〇
額田豐講評　天然生活法　定價八十五錢
港の唄　千田幹彦　九五
原始基督教　石原謙・山谷省吾共　一、〇〇
聖書の話　宮川己作　一、二〇
大阪屋號書店　京城本町一電話六八・六六番振替京城二五七三番

花柳病外科專門　◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病　◉睾丸病◉肛門病◉皮膚病　婦人病◉神經衰弱ヒステリー◉　京城南大門通殖產銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
★株式會社百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話長五八番　振替貯金京城一一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

りん病ばい毒患者諸君に警告す

古來誇大なる廣告の中には往々にして其の名を稱す新聞雜誌の廣告に其の比喩を見ざる所なき中に藥界の裏面を一瞥すれば其の世界の……（[illegible]）……

百圓進呈　りん病ばい毒　諸藥合併一回分二圓　帝國醫科大學病院　淋病は主として尿道に起り梅毒は主として血液中に潛伏す……等に於て實地經驗せる高貴藥……あらゆる治療を試みたる患者も之れを服用すれば全治……百圓進呈
にせ物あり　大阪有田藥を買ひ取れ　大阪ドラッグ商會　京城南大門外停車場通
大阪ドラッグ　京城南大門外停車場通　グッラド（ドラッグ）

にせドラッグあり注意

大阪區裁判所檢事局……

汽船釜山出帆廣告

○和歌浦丸　八月　三日後五時出帆
○立神丸　七月　日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸　七月　日後十時出帆
○立神丸　八月二日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
○第三琴平丸　門司、宇品、神戶、大阪行　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天兵丸　毎月一日九日十四日廿一日廿六日（午後十一時出帆）
本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸　八月十一日後四時出帆
○大有丸　八月七日後四時出帆
○秀吉丸　七月　日後四時出帆
△神代丸　七月三十日後四時出帆
△印大阪直行
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番三三三番
鐵道院局及社外船と荷客連絡運輸の便あり詳細は本社支店出張所代理店荷客取扱店に御照會願上候
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店　電話長一、一七〇番

○關門より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず）
京畿丸　八月十四日
×忠清丸　八月五日
×咸鏡丸　八月九日
忠清丸　八月十九日
釜山發

○元山より各地經由雄基行
鏡城丸　八月六日
鏡城丸　八月二日
三浦丸　八月四日
元山發

○浦潮行（元山より城津淸津經由）
平安丸　八月二日　元山發

○元山長箭間
鏡城丸　八月一日
柳川丸　八月九日
總城丸　八月十四日
元山發

○釜山元山間
慶寶丸　八月二日　釜山發

○鬱陵島行浦項及各地經由
盈德丸　八月二日　釜山發

○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
金海丸　裵陽丸　毎日　釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　八月六日　釜山發

○麗水行（各地經由）
海州丸　統營丸　巨濟丸　毎日　釜山發

○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
順天丸　南陽丸　三日目毎に　木浦發

○木浦より濟州島行各島經由
東廻　公州丸　八月三日
西廻、慶興丸　八月七日
木浦發

○多島海各島行
慶興丸　八月二日　木浦發

○木浦行（群山其他各地經由）
晋州丸　八月七日
麗水丸　八月二日
仁川發

○鎭南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸　八月三日　仁川發

○海州行（江華島喬桐島經由）
全州丸　錦江丸　毎日（但し三十一日は休航）　仁川發

忌明

亡之男儀（葬儀の際は炎暑にも不拘御會葬被成下難有御禮申上候）大正六年七月三十日　父　山口恒造

長男仁儀葬儀の際は炎暑之砌遠路態々御會葬被下難有奉感謝候御伺ひ被成も難計候間乍略儀以紙上此段御厚禮申上候　頓首
七月三十日　父　桐原涉